

# 掛川市学校施設長寿命化計画

令和3年3月

掛川市教育委員会



# 目 次

第 1 章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等.....	1
1. 背景.....	1
2. 目的.....	1
3. 計画の位置付け.....	2
4. 計画期間.....	2
5. 対象施設.....	3
第 2 章 学校施設の目指すべき姿.....	5
第 3 章 学校施設の実態.....	6
1. 学校施設の運営状況・活用状況等の実態.....	6
2. 学校施設の劣化状況の実態.....	23
第 4 章 学校施設整備の基本的な方針など.....	24
1. 学校施設の規模・配置計画等の方針.....	24
2. 改修等の基本的な方針.....	25
第 5 章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等.....	27
1. 改修等の整備水準.....	27
2. 維持管理の項目・手法等.....	28
第 6 章 長寿命化の実施計画.....	29
1. 改修等の優先順位付け.....	29
2. 工事優先度の算出方法.....	30
3. 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）.....	37
4. 工事優先度による平準化の方法.....	38
5. 長寿命化のコストの見通し.....	39
6. 改修等の実施計画（直近 5 年間の予算配分）.....	41
第 7 章 長寿命化計画の継続的運用方針.....	44
1. 情報基盤の整備と活用.....	44
2. 推進体制等の整備.....	44
3. フォローアップ.....	44
【資料編】.....	45
工事優先度の算出結果.....	45



# 第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

## 1. 背景

本市には、小学校 22 校と中学校 9 校の計 31 校及び 4 つの給食センターがあり、その中の多くが高度経済成長期以降の昭和 40 年代から昭和 50 年代に建設され、7 割以上の建物が建設後 30 年を超えています。全ての校舎で耐震改修は終了しており、屋根・屋上や外壁など部分的な改修等を行っているものの、全体的に老朽化・機能低下が顕在化しています。

また、現在の学校を取り巻く環境は大きく急激に変化しており、新学習指導要領への対応、ICT を活用できる施設整備、新型コロナウイルス感染症に対応した新たな生活様式に向けた取組、教職員の働く場としての機能向上、地域との連携・協働の促進、学校施設の機能向上、変化に対応できる施設整備など様々な対応が求められています。

このような状況から、今後は老朽化した学校施設に対する改修や更新等の費用が集中的に必要になると予想されます。

一方で、高齢化の急速な進展による社会保障費の増加や生産年齢人口の減少等により、長期的には市税収入の減少が予想されるなど、学校施設に係る財源確保はますます厳しくなることが見込まれます。そうした中で、本市では「中学校区学園化構想」として保幼小中一貫教育を掲げ、小中一貫型の施設整備を進めていくこととしています。そういった方向性を含め、現在ある学校施設の今後の維持管理の方針を定めていく必要があります。

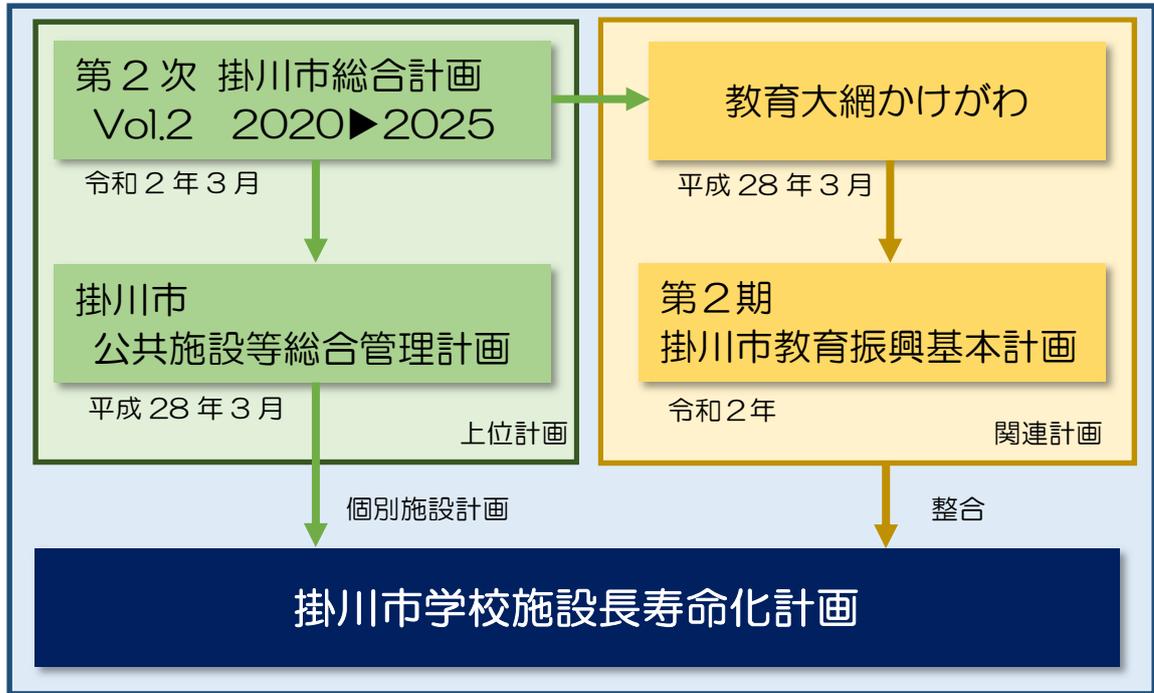
## 2. 目的

掛川市学校施設長寿命化計画は、前述の背景を踏まえ、現在の学校施設の実態を把握し、今後の老朽化対策や現代の社会的要請に応じた教育環境の質的改善などを図る整備等の維持・更新コストを中長期的に算出することにより、改修や更新を行う適切な時期を検討するとともに、今後の維持管理等に係るトータルコスト縮減・予算の平準化を実現することを目的として策定します。

### 3. 計画の位置付け

本計画は、掛川市公共施設等総合管理計画に基づく、学校施設の個別施設計画として位置付けられるものです。

図：計画の位置付け



### 4. 計画期間

本計画における計画期間は、上位計画である「掛川市公共施設等総合管理計画」の計画期間の整合を図るため、令和3（2021）年度から令和50（2068）年度までの48年間とし、「掛川市公共施設等総合管理計画」や「中学校区学園化構想」の進捗に応じて、計画の見直しを行っていきます。（見直しに際しては、今後の児童生徒数の動向や建物の劣化状況、財政状況を勘案した上で長期の縮減目標を見据えた検討を行います。）

**【計画期間】**

令和3年度～令和50年度

## 5. 対象施設

本計画の対象施設は、校舎や体育館（武道場を含む）など建築基準法による定期報告の対象で、延床面積が200㎡以上の建物とし、小学校22校65棟、中学校9校32棟、給食センター3施設3棟の計31校3施設100棟が対象となります。（大須賀学校給食センターは、令和5年度に廃止予定のため、対象外とします。）

20校の小学校は、開設年度から100年以上経過しており、長い歴史を持つ学校が多くなっています。

表：対象施設一覧

No.	学校名	住所	開設年度	延床面積 (㎡)	棟数
1	日坂小学校	大野 3-1	1873	2,325	2
2	東山口小学校	逆川 1012-1	1873	3,613	2
3	西山口小学校	成滝 145	1873	4,419	4
4	上内田小学校	上内田 3325	1875	3,209	3
5	第一小学校	掛川 1108-1	1873	5,375	3
6	第二小学校	大池 438-1	1875	4,734	4
7	中央小学校	下俣 633	1964	6,995	4
8	曾我小学校	領家 384	1908	2,905	2
9	桜木小学校	下垂木 1472-1	1873	6,443	3
10	和田岡小学校	吉岡 639-2	1881	3,735	3
11	原谷小学校	本郷 561-1	1873	3,872	4
12	原田小学校	原里 1623-1	1875	2,380	2
13	西郷小学校	上西郷 2606-2	1873	4,144	2
14	倉真小学校	倉真 3774	1872	2,387	2
15	城北小学校	水垂 178	1974	6,241	3
16	土方小学校	上土方 286-1	1886	3,845	3
17	佐東小学校	小貫 1474	1886	3,965	3
18	中小学校	中 3080	1889	2,933	3
19	大坂小学校	大坂 5667	1886	5,815	4
20	千浜小学校	千浜 5849	1886	4,547	4
21	横須賀小学校	横須賀 1110	1873	5,591	3
22	大淵小学校	大淵 5602	1875	3,293	2
小学校 計				92,766	65

No.	学校名	住所	開設年度	延床面積 (㎡)	棟数
23	栄川中学校	本所 538	1955	4,403	3
24	東中学校	葛川 1039	1947	6,802	3
25	西中学校	下俣 1007-1	1947	7,685	5
26	桜が丘中学校	富部 716	1953	6,112	3
27	原野谷中学校	寺島 15	1960	4,482	3
28	北中学校	西郷 220-2	1975	8,756	4
29	城東中学校	下土方 680	1950	5,149	3
30	大浜中学校	大坂 1147	1962	8,028	5
31	大須賀中学校	横須賀 1007	1947	8,089	3
中学校 計				59,506	32
1	大東学校 給食センター	大坂 4552-5	2000	1,391	1
2	給食文化苑 こうようの丘	光陽 211-1	2002	1,558	1
3	さかがわ学校 給食センター	逆川 653-15	2017	2,571	1
給食センター 計				5,520	3
学校施設 計				157,792	100

※大須賀学校給食センターは、令和5年度に廃止予定のため、対象外とします。

出典：掛川市学校施設台帳（令和2年5月1日現在）

## 第2章 学校施設の目指すべき姿

「第2期掛川市教育振興基本計画『人づくり構想かけがわ』2019～2025」に示されている施策の方向性に従い、将来の学校施設整備の目指すべき姿と取組内容を以下に示します。

<b>主要課題</b>
■ 学びの環境に関すること □ 学校の適正規模・適正配置の観点を踏まえた学校のあり方の検討 □ 公共施設マネジメントの観点を踏まえ、学校の再編を推進し、地域のニーズに対応した施設の複合化・多機能化を考慮
<b>施策の内容</b>
<b>施策4 未来へつなぐ学校づくり</b> イ 学校再編基本計画の策定 小中一貫教育を推進するための学校施設のあり方を検討し、これからの時代を生きる子どもに求められる資質・能力を育むため、掛川市全体の学校再編基本計画を策定していきます。
<b>施策5 安全・安心な教育環境の整備</b> ア 老朽校舎・屋内運動場等の改築、改良 老朽化が進む校舎、屋内運動場及び付帯施設の改築、または改良にあたっては、長寿命化計画や学校再編計画を踏まえ、計画的に進めます。 イ 施設のユニバーサルデザイン化、教室不足への対応 安全安心で良好な学習環境を提供するため、施設のユニバーサルデザイン化を進めます。 特に、日常生活に最も近いトイレの洋式化について、積極的に進めます。 教室不足への対応については、将来の児童生徒数の推移を勘案するとともに学校再編計画を踏まえて対応を検討します。
<b>施策6 安全・安心な学校給食の推進</b> オ 給食センターの施設整備 大東及び大須賀給食センターは、調理機器の老朽化やアレルギー食対応など、施設整備が必要な状況です。一方、少子化による児童生徒数の減少や公立幼稚園のこども園化による自園給食への移行など、給食提供数は減少しています。このような状況を鑑み、両センターの適切な施設整備と効率的な運営に向けた計画立案を進めていきます。 給食文化苑こようの丘については、調理機器や設備の老朽化の状況を踏まえて、計画的な施設整備を進めていきます。

出典：第2期掛川市教育振興基本計画『人づくり構想かけがわ』 令和2年版 詳細版

### 第3章 学校施設の実態

#### 1. 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

##### (1) 学校施設の概要

本市には、小学校が22校、中学校が9校、給食センターが4施設の合計31校4施設の学校施設があります。

児童・生徒数や学級数から学校の規模をみると、13校の小学校、5校の中学校は小規模校であり、学校の小規模化が進んでいます。一方で、第一小学校、桜木小学校、城北小学校、西中学校は大規模校となっています。（小中学校ともに12～18学級が適正規模校とされています。）

表：学校基礎情報一覧

No.	学校名	延床面積 (㎡)	代表 <sup>※1</sup> 建築 年度	児童生徒数（人）		学級数（学級）	
				通常 学級	特別 支援	通常 学級	特別 支援
1	日坂小学校	2,325	1978	79	0	6	0
2	東山口小学校	3,613	1981	149	8	6	2
3	西山口小学校	4,419	1965	557	9	18	2
4	上内田小学校	3,209	1976	130	3	6	1
5	第一小学校	5,375	1962	607	14	20	2
6	第二小学校	4,734	1977	435	18	16	3
7	中央小学校	6,995	2017	559	14	18	2
8	曾我小学校	2,905	1970	180	5	6	2
9	桜木小学校	6,443	1980	655	40	22	6
10	和田岡小学校	3,735	1979	168	2	6	1
11	原谷小学校	3,872	1971	216	6	9	1
12	原田小学校	2,380	1980	68	0	6	0
13	西郷小学校	4,144	1979	414	22	15	5
14	倉真小学校	2,387	1981	62	0	6	0
15	城北小学校	6,241	1973	639	24	22	4
16	土方小学校	3,845	1963	159	0	6	0
17	佐束小学校	3,965	1981	152	3	6	1
18	中小学校	2,933	1979	119	3	6	1
19	大坂小学校	5,815	1972	399	10	14	2
20	千浜小学校	4,547	1964	170	6	7	2
21	横須賀小学校	5,591	1974	369	7	14	2
22	大淵小学校	3,293	1973	170	8	6	2
小学校 計		92,766		6,456	202	241	41

No.	学校名	延床面積 (㎡)	代表 建築 年度 <sup>※1</sup>	児童生徒数（人）		学級数（学級）	
				通常 学級	特別 支援	通常 学級	特別 支援
23	栄川中学校	4,403	1978	98	3	4	1
24	東中学校	6,802	1968	571	9	18	2
25	西中学校	7,685	1967	634	16	20	3
26	桜が丘中学校	6,112	1980	400	10	13	2
27	原野谷中学校	4,482	1960	133	2	6	1
28	北中学校	8,756	1998	486	14	15	3
29	城東中学校	5,149	1974	204	0	7	0
30	大浜中学校	8,028	1980	267	10	10	2
31	大須賀中学校	8,089	2002	270	11	9	2
中学校 計		59,506		3,063	75	102	16
1	大東学校 給食センター	1,391	2000	—	—	—	—
2	給食文化苑 こうようの丘	1,558	2002	—	—	—	—
3	さかがわ学校 給食センター	2,571	2017	—	—	—	—
	大須賀学校 給食センター	(982)	1989	—	—	—	—
給食センター 計		5,520 <sup>※2</sup>		—	—	—	—
学校施設 計		157,792 <sup>※2</sup>		9,519	277	343	57

出典：「令和2年度 掛川の教育＜統計書＞」（令和2年5月1日現在）

※1 代表建築年度は、最も面積が大きい建物の建築年度を示しています。

※2 大須賀学校給食センターの延床面積は除いています。

—凡例—	
	小規模校
	大規模校

## (2) 児童生徒数及び学級数の推移

昭和50年（1975年）度から令和27年（2045年）度までの5年ごとの児童生徒数及び学級数の推移を表に示します。

### ＜児童生徒数の推移＞

児童生徒数は、令和2年度までは実績値、令和7年（2025年）度以降は、「掛川市小中学生人口推定（静岡大学 李准教授・岩田氏）」の推計値を示しています。

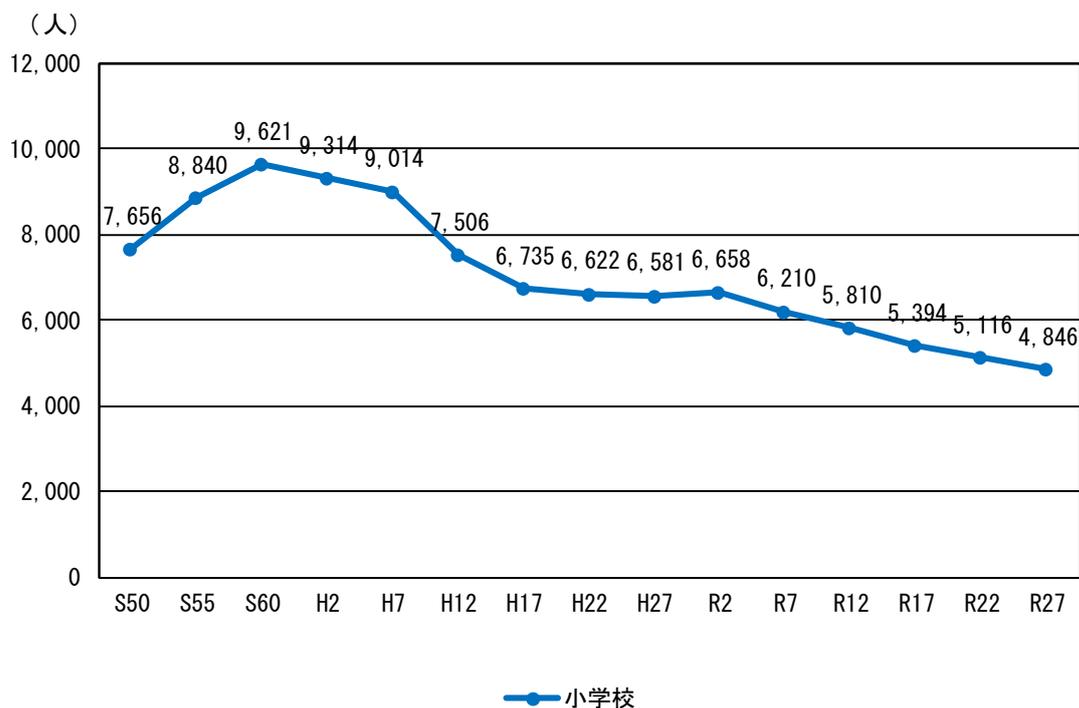
表：学校別児童生徒数の推移

	No.	学校名	これまでの推移										推計結果					
			S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2	R7	R12	R17	R22	R27	
学校児童数	1	日坂小学校	169	154	195	196	150	99	90	62	77	79	48	44	46	44	43	
	2	東山口小学校	213	248	280	294	268	176	155	150	141	157	131	124	145	141	139	
	3	西山口小学校	579	619	620	511	480	466	452	433	483	566	576	549	538	499	452	
	4	上内田小学校	163	196	220	244	216	175	136	117	110	133	112	105	109	95	87	
	5	第一小学校	758	768	645	692	731	617	555	525	562	621	734	671	638	604	586	
	6	第二小学校	350	369	347	312	395	365	378	455	519	453	494	469	414	394	382	
	7	中央小学校	839	885	803	742	697	668	637	680	616	573	567	537	478	479	472	
	8	曾我小学校	267	277	290	265	237	201	173	170	186	185	227	183	179	161	151	
	9	桜木小学校	390	595	761	819	857	696	705	780	699	695	632	617	621	583	548	
	10	和田岡小学校	181	207	274	330	333	249	209	158	166	170	157	125	127	111	105	
	11	原谷小学校	326	391	392	398	435	315	215	187	195	222	189	180	170	162	137	
	12	原田小学校	173	187	203	182	174	139	98	82	77	68	53	52	46	33	33	
	13	西郷小学校	277	323	409	404	350	322	279	315	372	436	383	362	342	376	360	
	14	倉真小学校	153	210	196	190	163	96	82	81	75	62	61	66	67	67	65	
	15	城北小学校	454	681	955	912	790	612	603	608	633	663	545	509	466	487	477	
	16	土方小学校	223	230	313	269	223	239	225	180	143	159	149	119	109	98	92	
	17	佐東小学校	156	183	231	282	252	199	212	184	188	155	139	142	122	83	79	
	18	中小学校	132	159	189	167	174	170	156	112	109	122	101	98	78	65	56	
	19	大坂小学校	522	699	713	643	667	532	467	456	446	409	329	301	259	257	239	
	20	千浜小学校	321	401	414	367	391	345	256	217	188	176	139	158	107	101	86	
	21	横須賀小学校	677	747	788	716	655	522	428	481	425	376	309	265	212	178	174	
	22	大淵小学校	234	262	329	316	315	270	192	189	171	178	135	134	121	98	83	
		原泉小学校	99	49	54	63	61	33	32									
		児童数計	7,656	8,840	9,621	9,314	9,014	7,506	6,735	6,622	6,581	6,658	6,210	5,810	5,394	5,116	4,846	
中学校生徒数	23	栄川中学校	235	179	207	254	247	202	119	114	97	101	110	89	88	74	71	
	24	東中学校	749	688	783	768	722	661	549	537	533	580	665	613	597	574	543	
	25	西中学校	790	700	762	696	696	689	560	545	638	650	602	612	553	532	499	
	26	桜が丘中学校	349	308	479	555	573	588	446	424	443	410	432	403	391	372	345	
	27	原野谷中学校	301	219	263	289	280	298	209	147	127	135	129	132	119	102	93	
	28	北中学校	530	497	707	795	750	679	510	467	477	500	579	518	495	486	473	
	29	城東中学校	310	234	281	377	376	327	290	272	213	204	219	215	209	204	202	
	30	大浜中学校	390	391	554	524	515	508	407	333	318	277	305	267	221	202	188	
	31	大須賀中学校	475	417	530	555	529	482	385	328	309	281	282	218	197	173	164	
			生徒数計	4,129	3,633	4,566	4,813	4,688	4,434	3,475	3,167	3,155	3,138	3,323	3,067	2,870	2,719	2,578

## 【小学校】

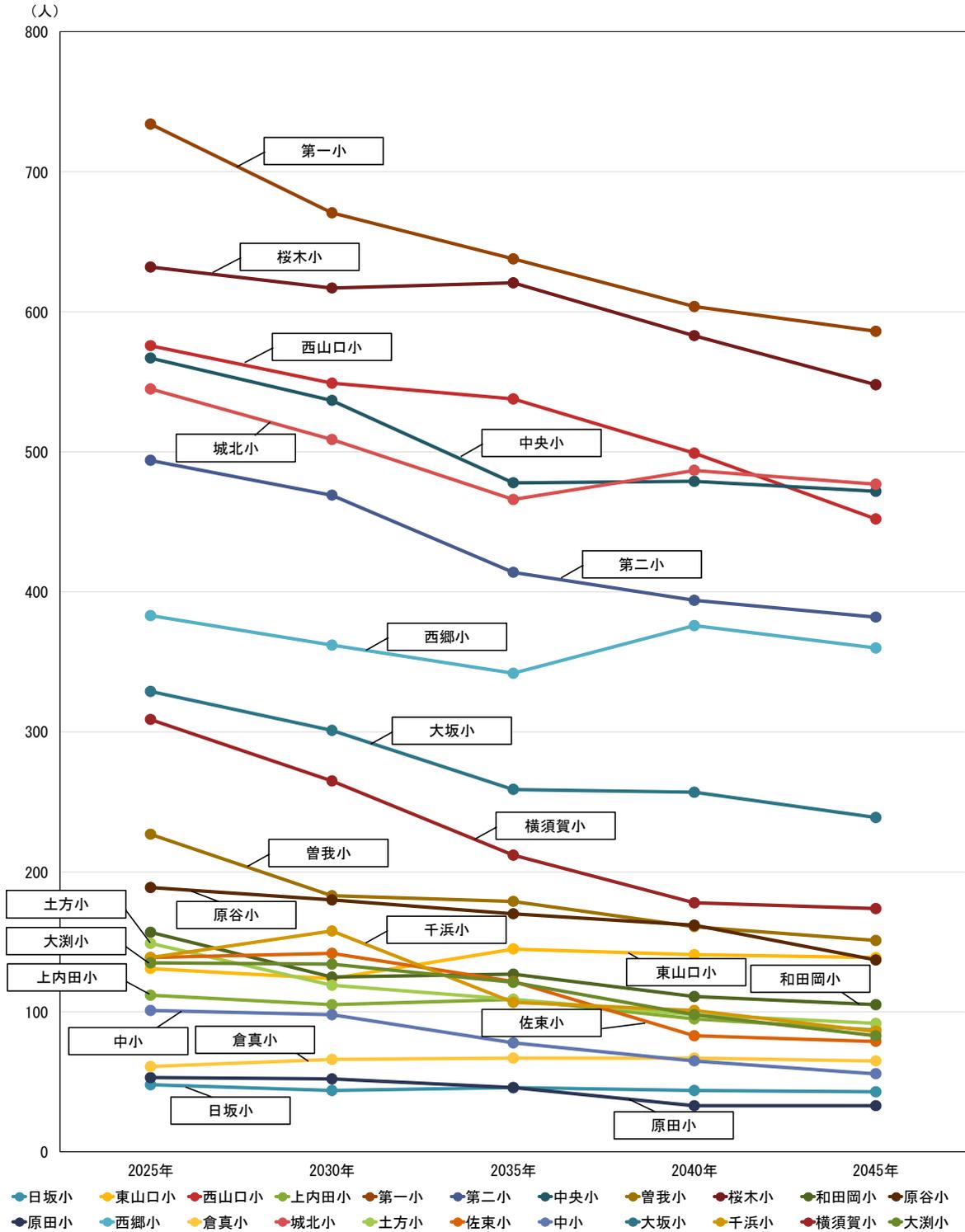
年度別の小学校の児童数の推移を以下に示します。児童数の過去のピークとしては、昭和 60 年度に 9,621 人となっています。昭和 60 年度から平成 17 年度までは減少傾向が見られ、平成 17 年度から令和 2 年度までは横ばいから若干の増加傾向が見られ、令和 2 年度の児童数は、6,658 人（ピーク時の約 7 割）となっています。令和 2 年度以降は、減少傾向となり、令和 27 年度には、4,846 人（ピーク時の約 5 割）となる見込みです。

図：年度別児童数の推移(小学校)



小学校別の将来の児童数の推移を以下に示します。学校によって途中段階で増加傾向を示すケースもありますが、ほぼ全ての学校で最終的には減少となっています。

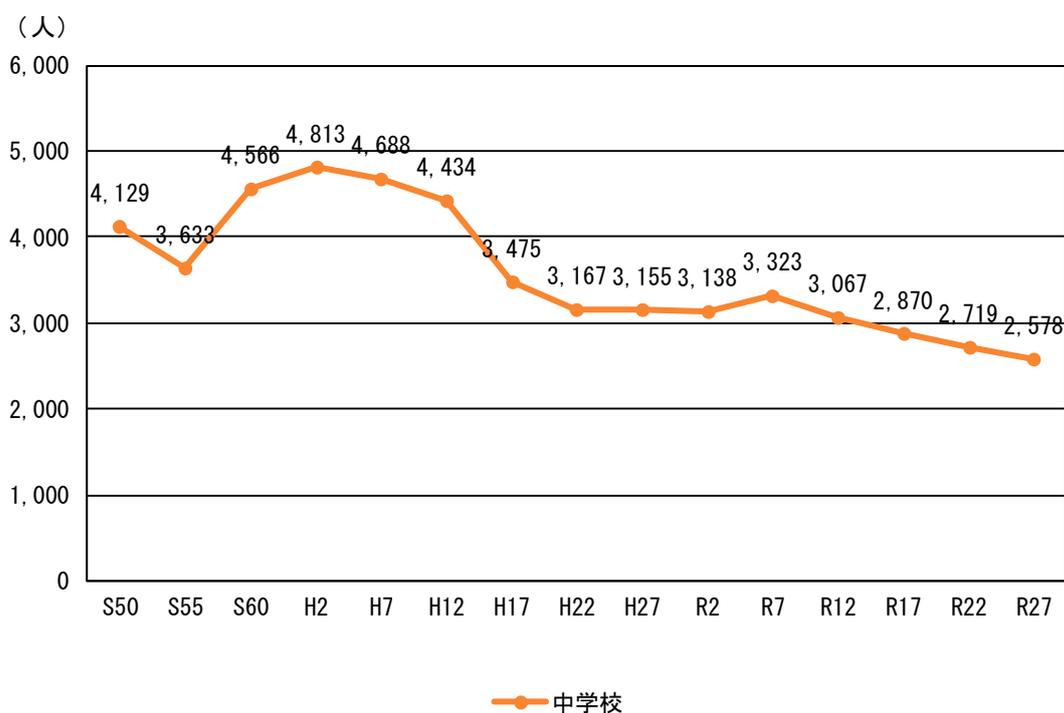
図：小学校別の将来の児童数の推移



## 【中学校】

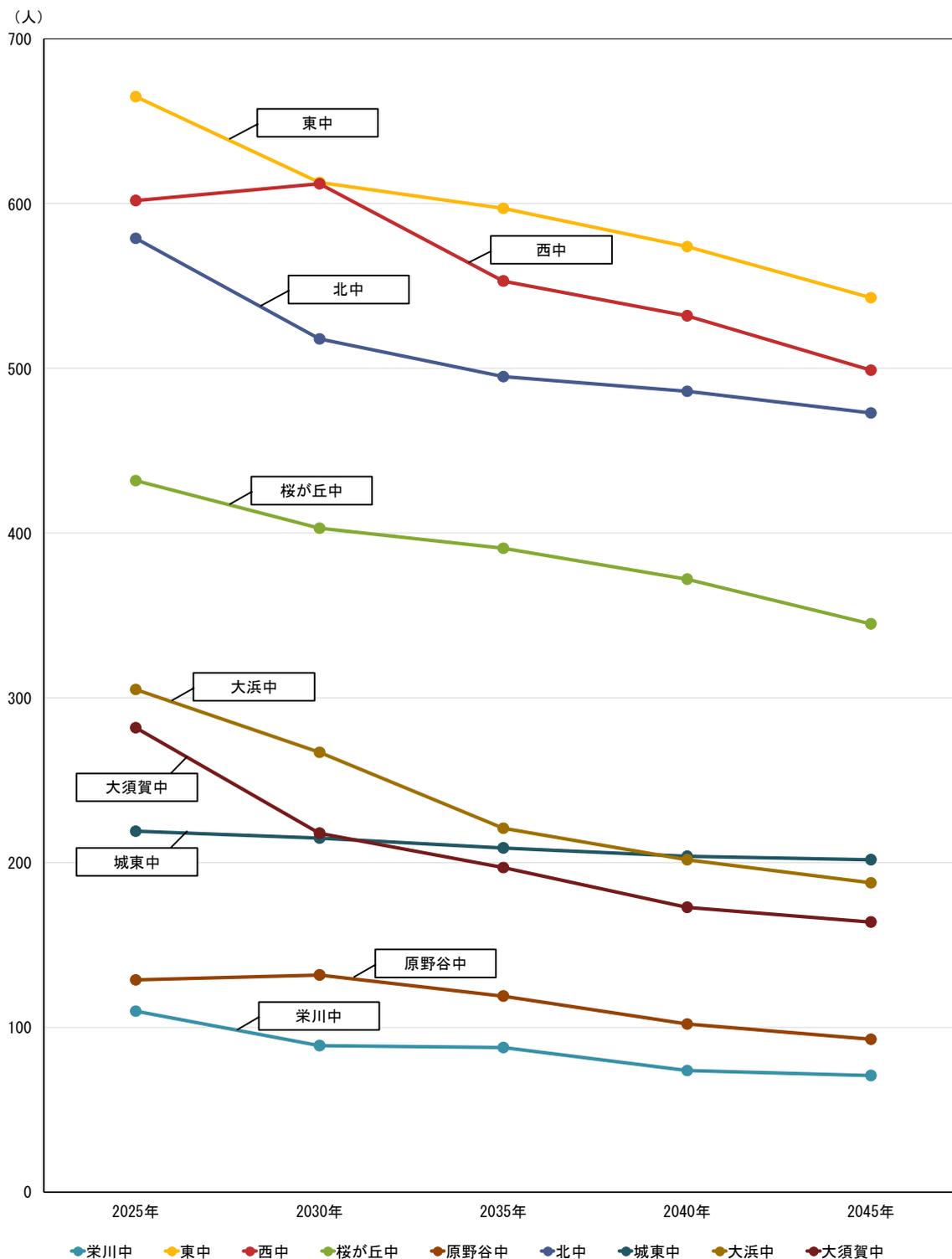
年度別の中学校の生徒数の推移を以下に示します。生徒数の過去のピークとしては、平成2年度に4,813人となっています。平成2年度から平成22年度までは、減少傾向となり、平成22年度から令和2年度までは、横ばいで推移し、令和2年度には、生徒数は、3,138人（ピーク時の約7割）となっています。令和2年度から令和7年度にかけては、増加傾向が見られますが、令和7年度以降は、減少傾向となり、令和27年度には、2,578人（ピーク時の約5割）となる見込みです。

図：年度別生徒数の推移(中学校)



中学校別の将来の生徒数の推移を以下に示します。学校によって途中段階で増加傾向を示すケースもありますが、ほぼ全ての学校で最終的には減少となっています。

図：中学校別の将来の生徒数の推移



### <学級数の推移>

学級数は、令和2年度までは実績値、令和7年（2025年）度以降は、「掛川市小中学生人口推定（静岡大学 李准教授・岩田氏）」の児童生徒数の推計値から算出した値（35人学級とした場合）です。

表：学校別学級数の推移

	No.	学校名	これまでの推移										推計結果				
			S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2	R7	R12	R17	R22	R27
			1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
小学校 学級数	1	日坂小学校	6	6	6	7	6	6	6	5	6	6	6	6	6	6	6
	2	東山口小学校	6	9	11	12	12	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6
	3	西山口小学校	17	17	16	16	16	15	15	14	17	18	18	18	18	18	17
	4	上内田小学校	6	6	6	8	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6
	5	第一小学校	21	23	17	20	22	20	19	17	18	20	24	24	22	19	19
	6	第二小学校	12	12	12	12	12	13	13	13	16	16	18	17	14	15	12
	7	中央小学校	21	25	19	21	21	21	20	19	19	18	18	18	18	18	18
	8	曾我小学校	6	10	10	10	8	8	7	6	6	6	9	6	6	6	6
	9	桜木小学校	12	17	19	23	26	21	21	24	24	22	20	20	19	18	18
	10	和田岡小学校	7	7	9	11	13	10	8	6	6	6	6	6	6	6	6
	11	原谷小学校	10	12	12	12	13	12	8	6	7	9	7	6	6	6	6
	12	原田小学校	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	13	西郷小学校	11	13	12	13	14	13	12	11	13	15	12	13	12	12	12
	14	倉真小学校	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	15	城北小学校	13	17	23	25	23	18	20	18	20	22	18	18	17	18	18
	16	土方小学校	6	8	12	10	7	9	9	6	6	6	6	6	6	6	6
	17	佐束小学校	6	6	6	11	9	7	8	6	6	6	6	6	6	6	6
	18	中小学校	6	6	6	6	6	6	7	6	6	6	6	6	6	6	6
	19	大坂小学校	15	19	20	18	20	18	17	14	15	14	12	12	12	12	11
	20	千浜小学校	11	13	12	12	12	12	11	9	7	7	6	6	6	6	6
	21	横須賀小学校	19	21	21	20	20	18	15	14	12	14	12	12	9	6	6
	22	大淵小学校	7	10	13	12	12	10	7	6	6	6	6	6	6	6	6
		原泉小学校	6	4	6	5	6	4	3								
		学級数計	236	273	280	296	297	267	252	224	234	241	234	230	219	214	209
中学校 学級数	23	栄川中学校	6	6	6	7	8	6	4	4	3	4	4	3	3	3	3
	24	東中学校	17	20	19	20	21	21	19	17	16	18	21	19	18	18	18
	25	西中学校	19	17	18	18	18	19	16	17	19	20	18	19	18	18	16
	26	桜が丘中学校	11	9	12	15	17	17	15	14	14	13	14	12	12	12	12
	27	原野谷中学校	9	6	7	9	9	9	6	6	6	6	6	6	6	4	3
	28	北中学校	14	13	17	21	19	18	16	15	15	15	18	15	15	15	15
	29	城東中学校	9	6	8	11	11	9	10	9	8	7	9	9	7	8	7
	30	大浜中学校	10	11	13	14	15	15	14	11	11	10	10	9	8	7	6
	31	大須賀中学校	13	12	14	16	16	15	14	11	10	9	9	8	7	6	6
		学級数計	108	100	114	131	134	129	114	104	102	102	109	100	94	91	86

※特別支援学級の学級数は含まない。

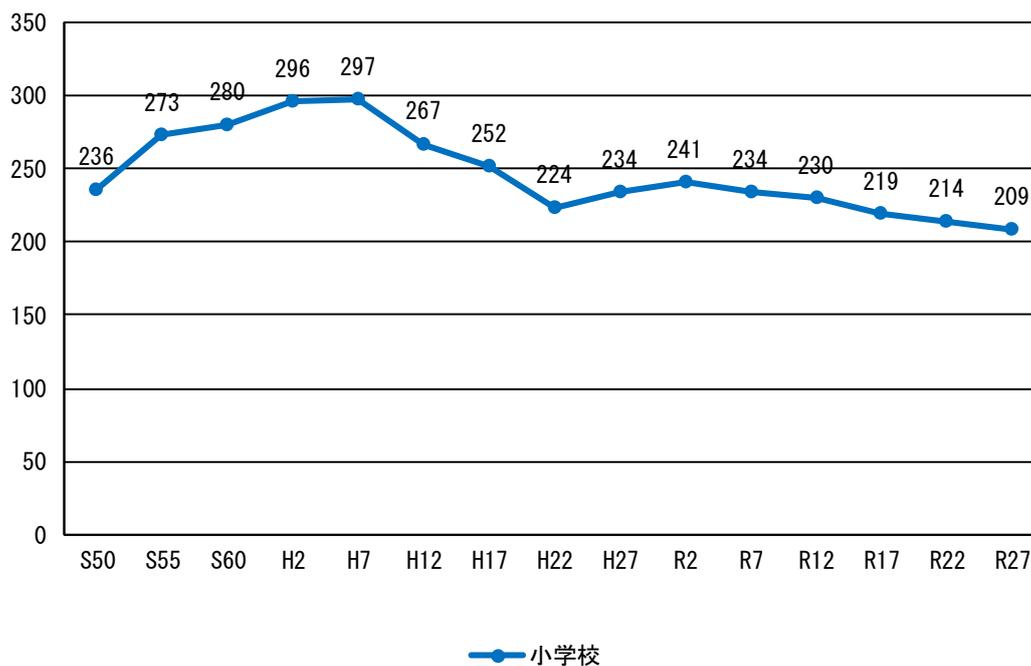
## 【小学校】

小学校の学級数の推移を以下に示します。過去のピークとしては、平成7年度年に297学級となっています。

学級数については、40人学級編成から段階的に35人学級編成に移行しているため、児童生徒数が減っていても、途中段階では増加している年度もあります。

図：学級数の推移(小学校)

(学級)

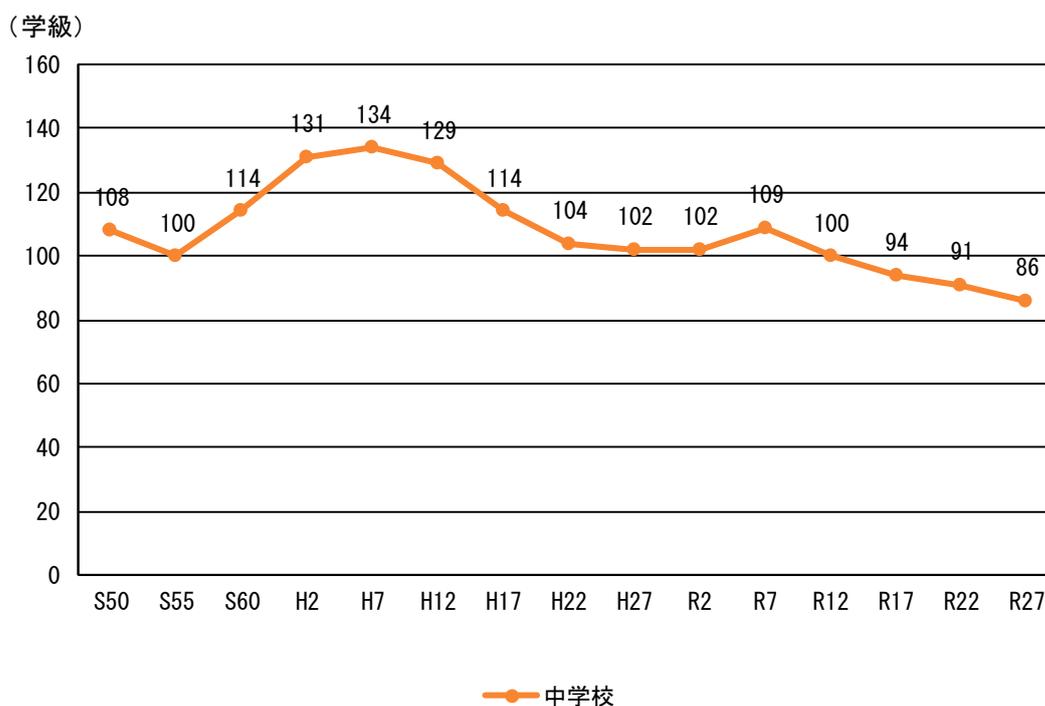


## 【中学校】

中学校の学級数の推移を以下に示します。過去のピークとしては、平成7年度に134学級となっています。

学級数については、40人学級編成から段階的に35人学級編成に移行しているため、児童生徒数が減っていても、途中段階では増加している年度もあります。

図：学級数の推移(中学校)

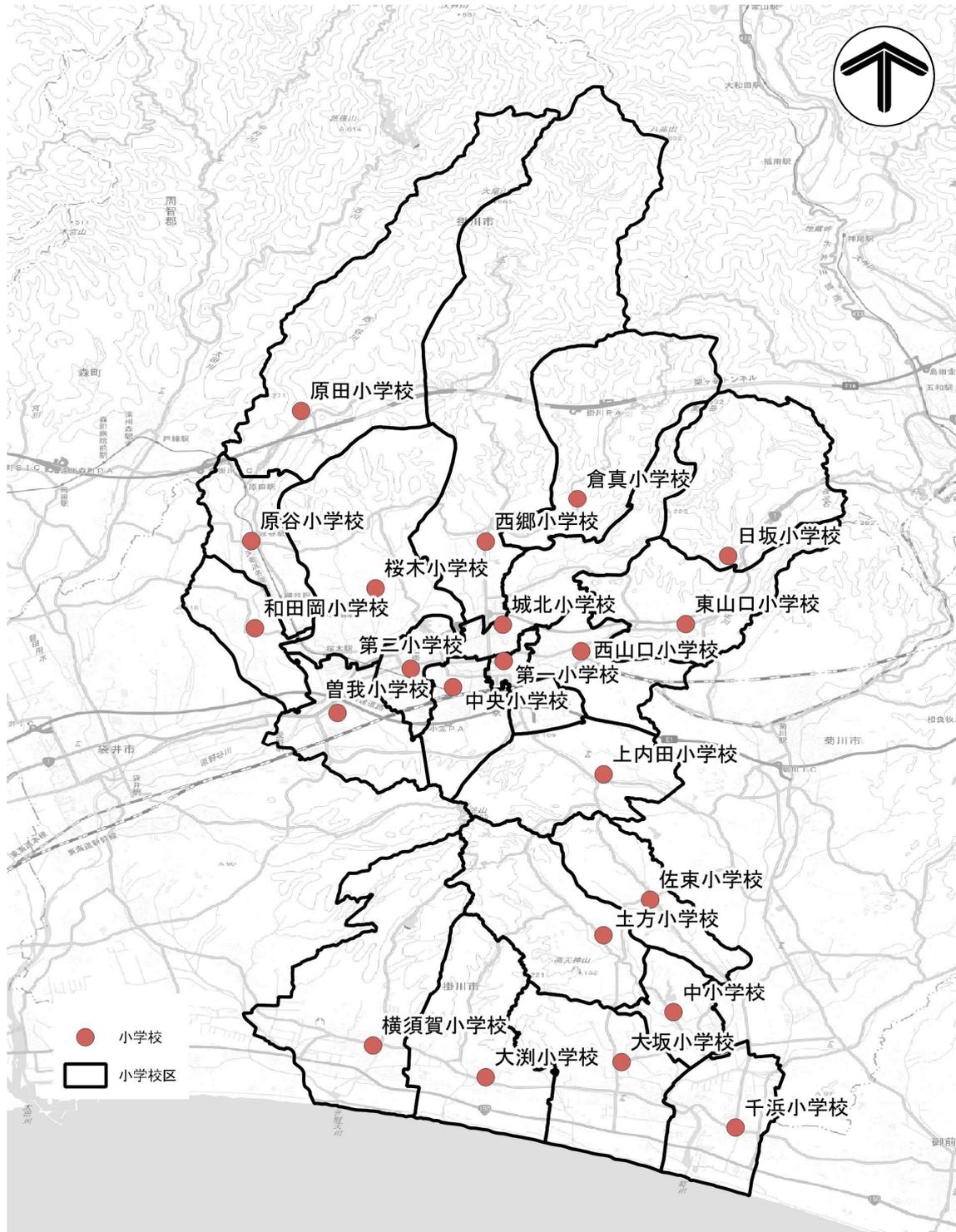


### (3) 学校施設の配置状況

本計画の対象となる小学校 22 校、中学校 9 校及び給食センター3 施設の配置状況は以下のとおりです。

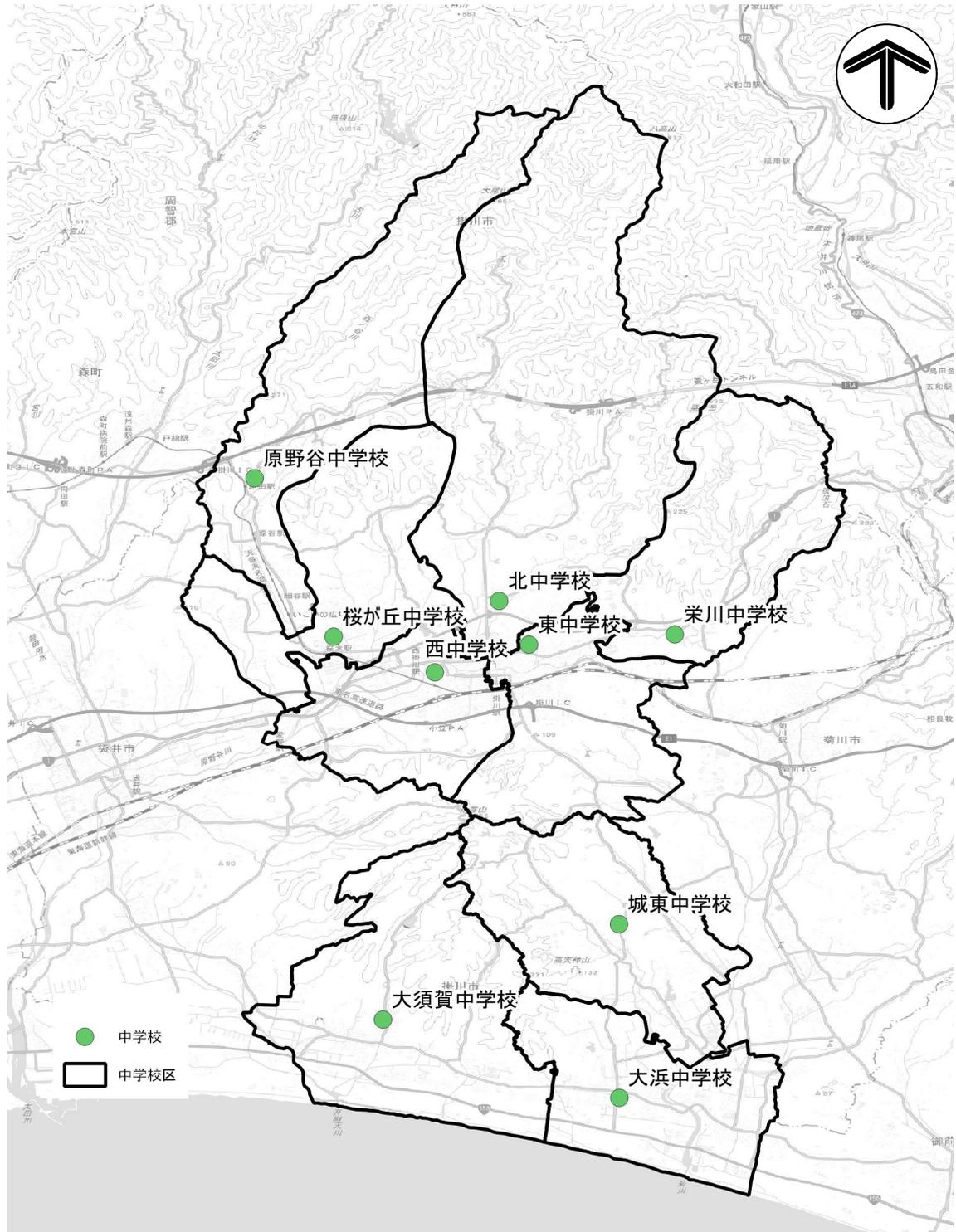
#### ■対象施設の配置状況と校区

##### <小学校>



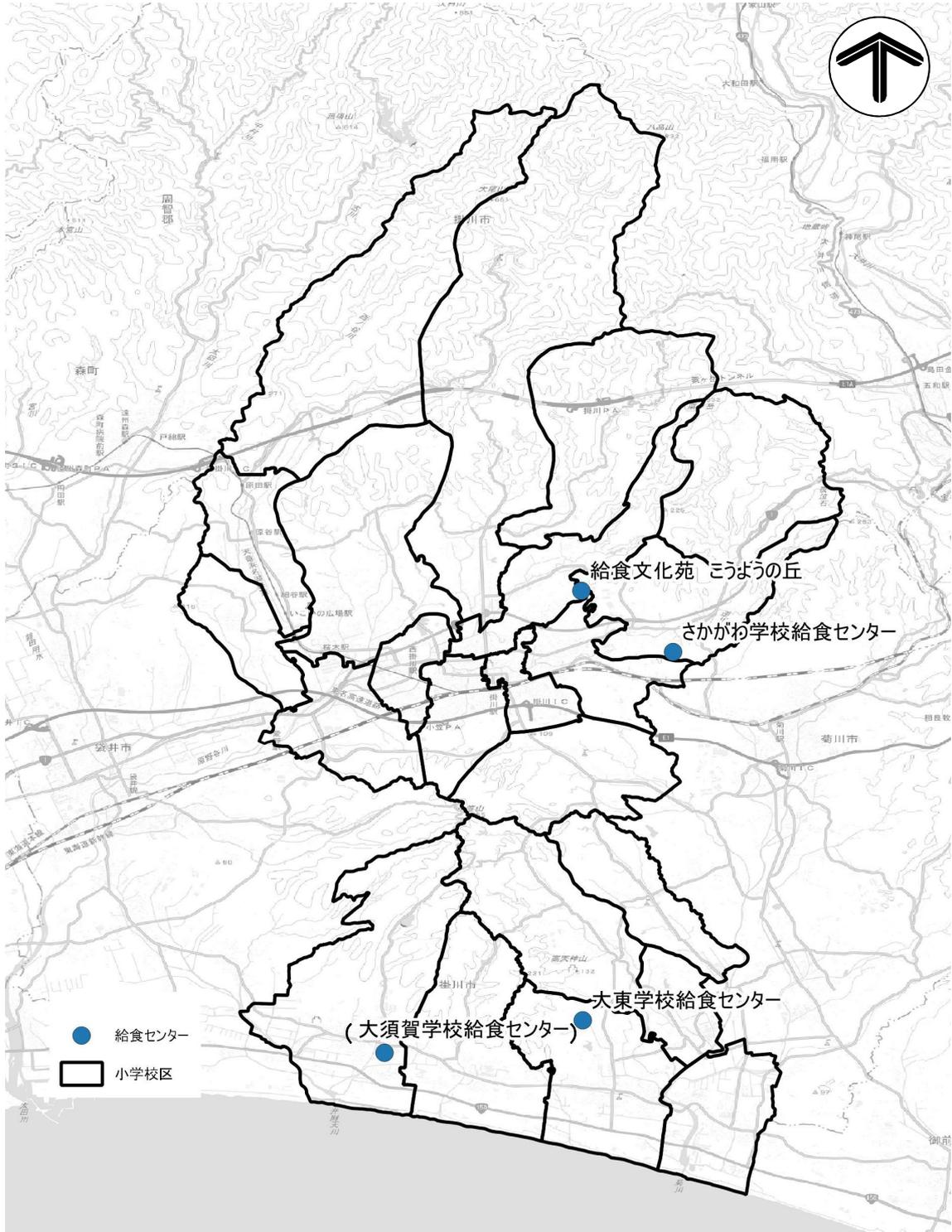
出典：「国土地理院 淡色地図」を基に作成

<中学校>



出典：「国土地理院 淡色地図」を基に作成

<給食センター>



出典：「国土地理院 淡色地図」を基に作成

#### (4) 施設関連経費の推移

施設整備費や維持修繕費、光熱水費・委託費などの学校施設にかかる施設関連経費の合計を平成22年(2010年)度からの10年間の平均で見ると、約12.6億円/年です。

10年間のうち、平成29年(2017年)度が最も多く、約25.3億円で10年平均より約12.7億円多くなっています。

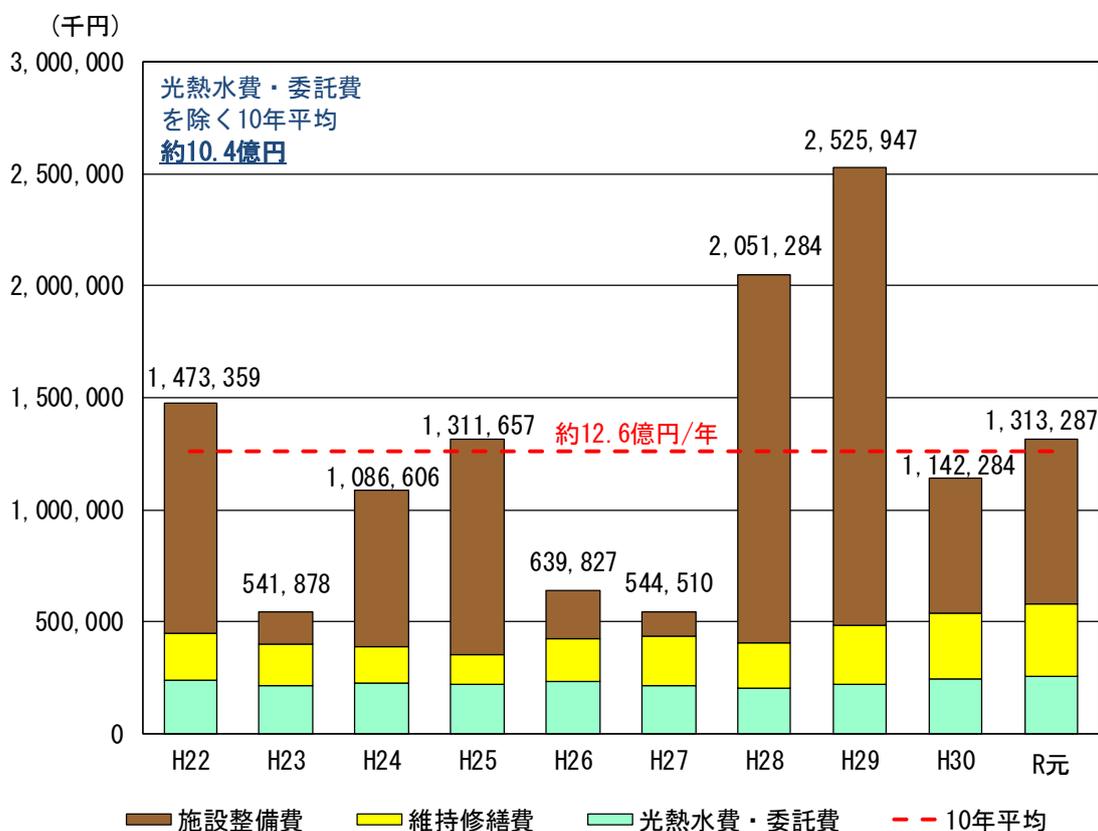
また、今後の建物の維持・更新コストと比較する際には、光熱水費・委託費は含まないため、それらを除いた施設関連経費の過去10年間の平均は、約10.4億円/年となります。

表：施設関連経費の推移

単位：(千円)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	10年平均
施設整備費	1,024,429	144,233	696,484	960,326	216,716	108,631	1,644,579	2,040,228	602,387	734,384	817,240
維持修繕費	213,009	180,697	165,010	131,121	187,862	221,822	207,050	265,389	293,424	322,281	218,767
光熱水費・委託費	235,921	216,947	225,112	220,210	235,249	214,057	199,654	220,330	246,473	256,622	227,058
施設関連経費合計	1,473,359	541,878	1,086,606	1,311,657	639,827	544,510	2,051,284	2,525,947	1,142,284	1,313,287	1,263,064
光熱水費・委託費を除く合計	1,237,438	324,931	861,494	1,091,447	404,578	330,453	1,851,630	2,305,617	895,811	1,056,665	1,036,006

図：施設関連経費の推移グラフ



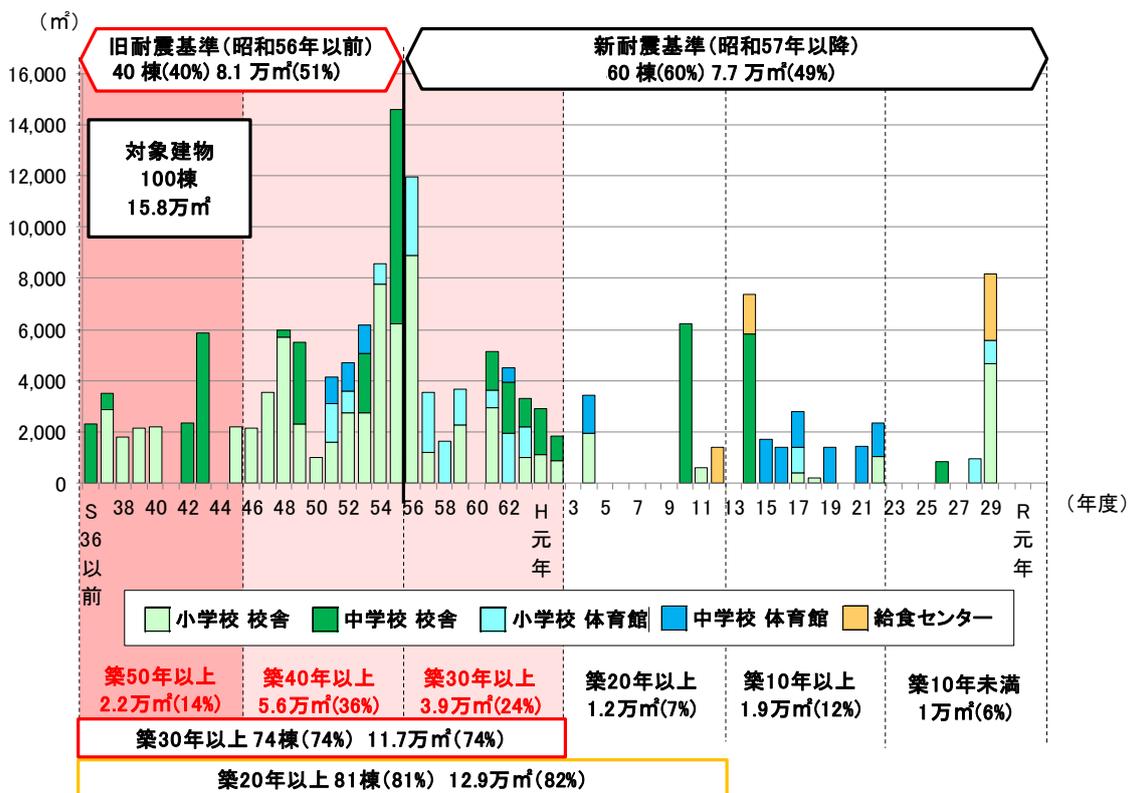
## (5) 学校施設の保有量

本計画で対象となる施設の総延床面積は、157,792 ㎡です。この内、旧耐震基準（昭和56年以前）の施設の延床面積は、80,601 ㎡で、全体の51%を占めています。

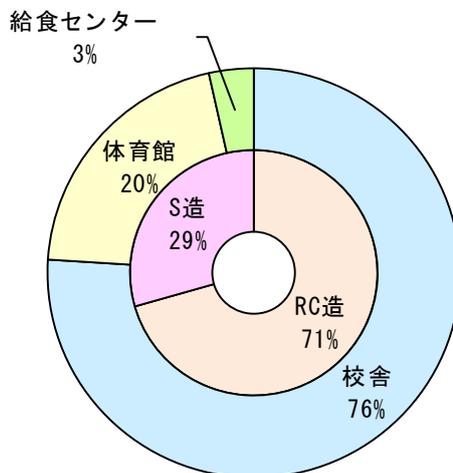
構造種別は、鉄筋コンクリート造（以下、RC造）が111,364 ㎡、鉄骨造（以下、S造）が46,428 ㎡で、RC造が全体の71%を占めています。用途別では、校舎（給食棟、渡り廊下を含む）が119,992 ㎡、体育館が32,280 ㎡です。体育館は全てS造です。

また、改修が必要とされる築30年以上の施設面積は117,479 ㎡で全体の74%を占めており、一部の学校では改修を実施しているものの、多くの施設がその時期を迎え、今後改修工事が必要となっています。

図：対象施設の整備状況



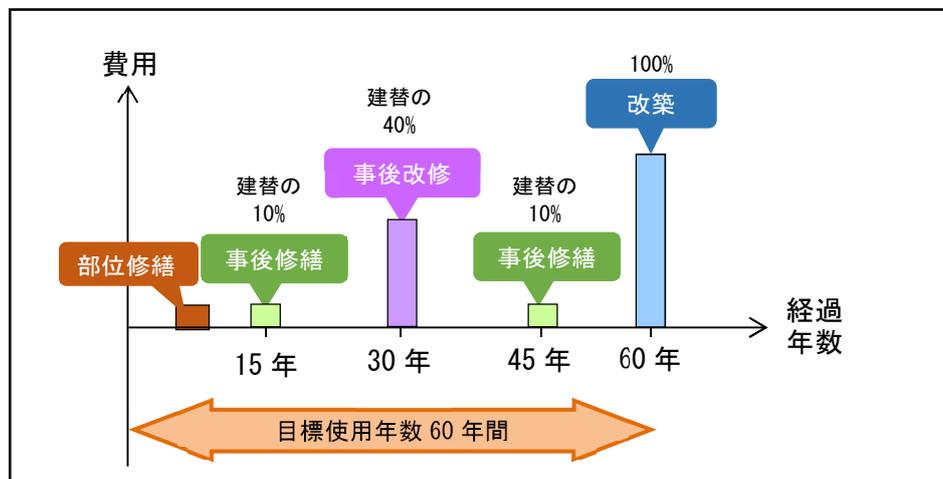
図：用途別、構造種別の整備状況



## (6) 今後の維持・更新コスト(従来型)

建築後 15 年・45 年で事後修繕、30 年で事後改修を実施し、60 年で改築を行う従来型の事後保全による更新サイクルを続けると仮定した場合の維持・更新コストを試算します。

図：従来型の維持管理イメージ



なお、現状で支障が生じている部位については、早急に対応する必要のある部位<sup>※1</sup>の修繕として今後 5 年以内に、広範囲に劣化している部位<sup>※2</sup>の修繕は今後 10 年以内を実施すると設定します。ただし、改修または建替を今後 10 年以内を実施する場合は除きます。

また、既に設定した工事の実施時期を過ぎていている場合については、未実施の工事を積み残し工事として今後 10 年以内を実施すると設定します。ただし、これまでに大規模改造（老朽）事業を実施している場合は、積み残し工事は実施済みとします。

※1：劣化評価基準（P.32）D 評価相当

※2：劣化評価基準（P.32）C 評価相当

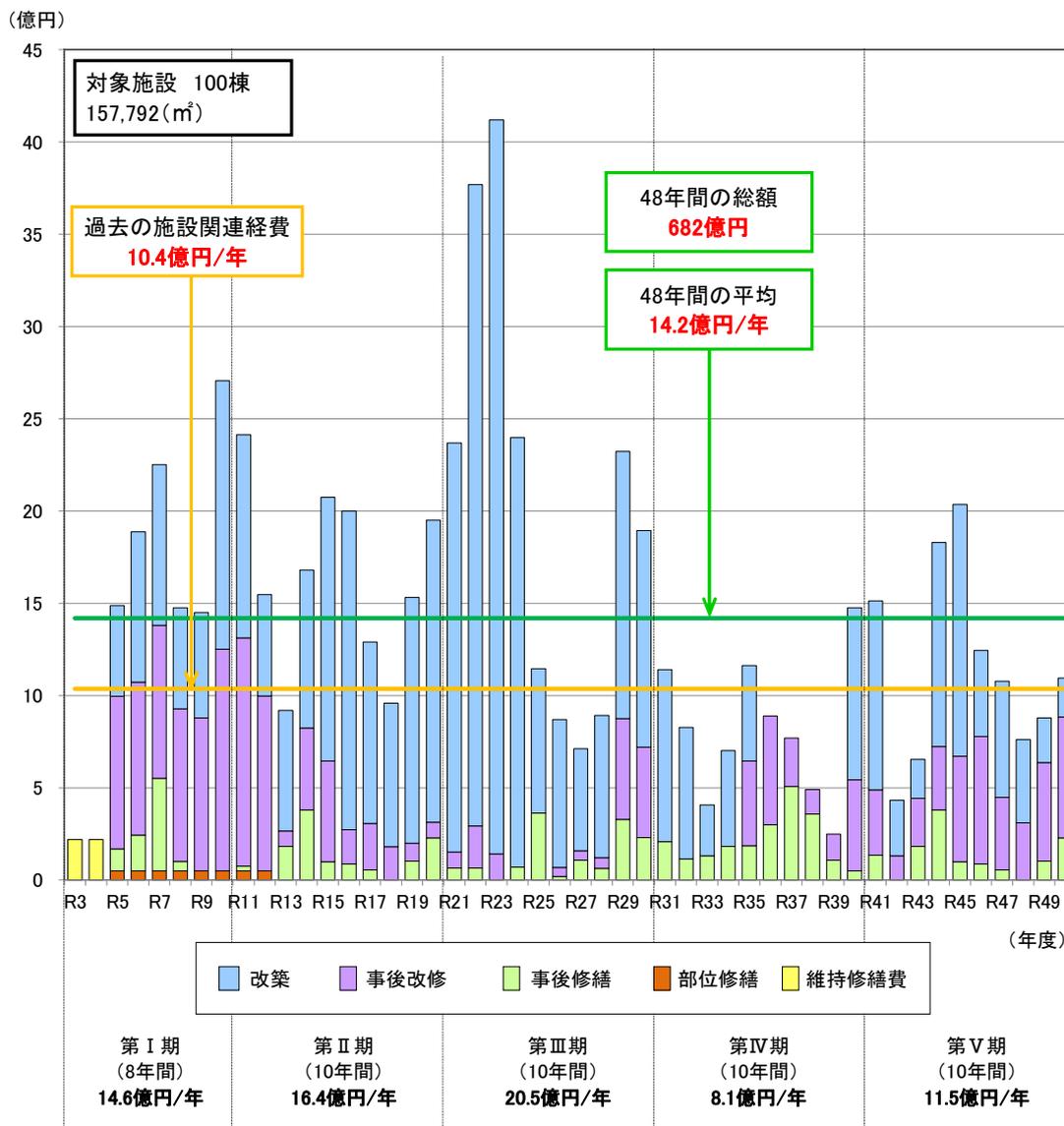
表：従来型の維持管理の名称と内容について

名称	内容	例（屋根・屋上）	総合管理計画名称
改築	構造上危険な状態にある建物や、教育を行うのに著しく不適当な建物で特別の事情があるものの改築	改築により新設	建替
事後改修	建物の耐久性を高めるとともに、現代の社会的要請に応じた施設への改修	全面的な防水層のやり替え（カバー工法）	改修
事後修繕	経年により、通常発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧措置等	部分的な防水層のやり替え	修繕
部位修繕	現状で支障が生じている部位（C または D 評価）に対する措置	限定した劣化範囲や漏水箇所の防水層のやり替え	—

改築単価を 300,000 円/㎡、事後改修の単価を 120,000 円/㎡、事後修繕の単価を 30,000 円/㎡とした場合※、今後 48 年間で 682 億円、年平均で約 14.2 億円必要となります。平成 22 年度から令和元年度の施設関連経費の年平均である約 10.4 億円（光熱水費・委託費は除く）の約 1.4 倍になります。

※「掛川市公共施設等総合管理計画（平成 28 年 3 月）」による。

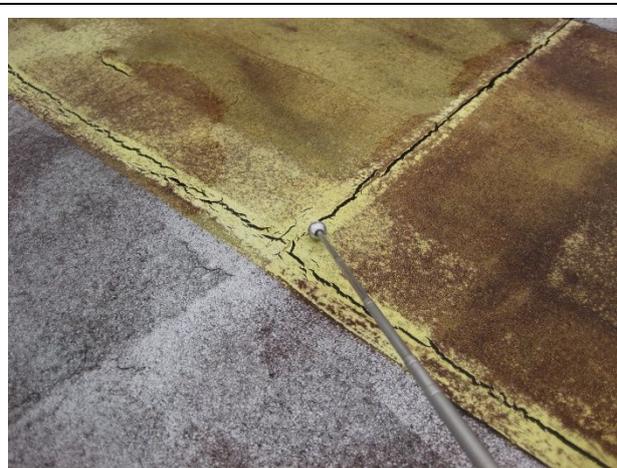
図：今後の維持・更新コスト(従来型)の試算結果



## 2. 学校施設の劣化状況の実態

改修が必要とされる築 30 年を越えた学校施設では、外部から先行して劣化が進んでいます。屋根・屋上では、防水層のひび割れや、折板屋根の錆が進行し、外壁では塗装の劣化やコンクリートの亀裂が発生して雨漏りの原因となっています。内装では、雨漏りによる天井ボードの腐食や破損がみられ、廊下境のスクールパーティションも変形により、扉の建付が悪くなってきています。設備面では、令和元年にすべての普通教室に空調機が整備されましたが、以前から設置されていた職員室や校長室の空調機は設置から 15 年以上経過しており、不具合や故障が多くなっています。照明器具は多くの校舎で蛍光灯、体育館では水銀灯が採用されており、器具が故障した箇所から LED 化が進められています。トイレは多くの学校で湿式トイレが採用されており、大便器は全体の 50%が和式便器です。

屋根・屋上



原谷小学校	普通教室棟(築 49 年)
屋上 露出アphalt防水	ひび割れ・浮き

内装



桜が丘中学校	教室棟,特別教室棟(築 40 年)
音楽室天井	雨漏りによる天井の破損

外壁



西山口小学校	普通教室棟,管理教室棟(築 55 年)
北側軒廻り	欠損及び鉄筋露出



土方小学校	屋内運動場(築 44 年)
外壁	塗装劣化

## 第4章 学校施設整備の基本的な方針など

### 1. 学校施設の規模・配置計画等の方針

#### (1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針

##### 1.点検・診断などの実施方針

- 点検項目と評価手法の設定
- 学校職員による巡視に加え、定期点検（月・年点検）の実施
- 専門技術者による2年に1回の建築基準法12条点検の実施
- 地震、台風、豪雨など異常気象発生後の緊急点検の実施
- 点検結果の蓄積

##### 2.大規模改造／長寿命化改修／改築等の計画方針

- 目標使用年数、改修周期の設定
- 施設整備水準の設定
- 大規模改造、長寿命化改修内容の設定と工事費の試算
- 点検結果等を踏まえた改修の優先順位づけ
- 過去の施設関連経費をもとにしたコストの平準化

##### 3.大規模改造／長寿命化改修／改築等の実施方針

- 汎用品や標準的な施工方法等の採用による工事費の削減
- 将来の設備更新費等を見据えた設計
- 省エネルギー機器の採用等、ランニングコストへの配慮

##### 4.継続的な運用を実施するための管理方針

- 工事履歴等のデータベース化による試算精度の向上
- 学校施設マネジメントに取り組むための組織体制の構築

#### (2) 学校施設の規模・配置計画等の方針

本市では、現在、「掛川市小中一貫教育推進基本方針（平成29年6月）」に基づく再配置計画の検討を行っており、学校施設の規模・配置計画等の方針については、当該計画において策定していきます。

## 2. 改修等の基本的な方針

### (1) 長寿命化の方針

現在の建物をすべて長寿命化改修し、同施設数、同延床面積を維持していくものと仮定し、本計画における維持・更新コストを試算します。

### (2) 目標使用年数、改修周期の設定

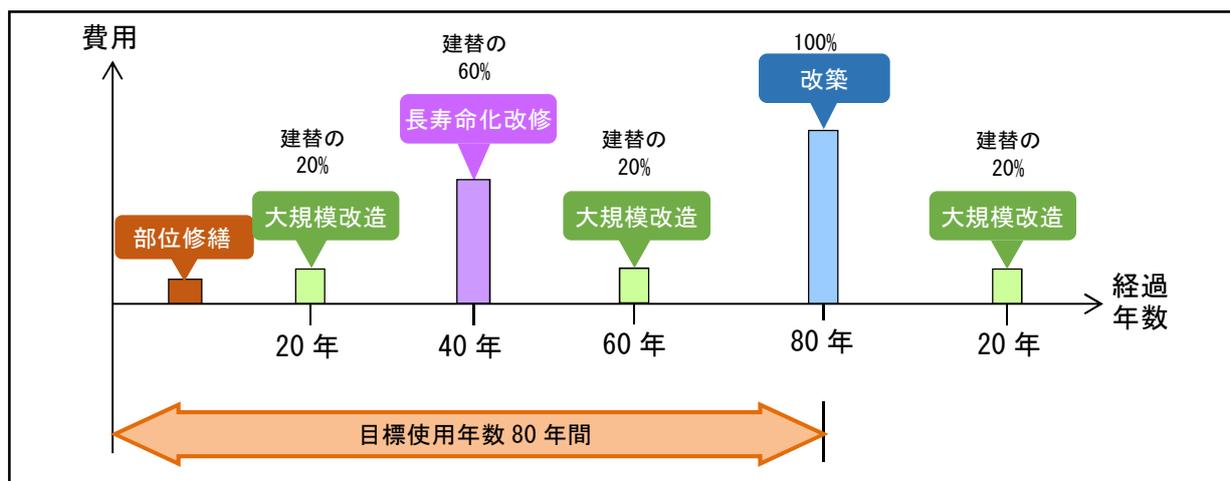
更新中心の従来型から長寿命化型に切り替えていくためには、計画的に機能向上と機能回復を図る改修や修繕を建物全体で実施する必要があります。

「掛川市公共施設等総合管理計画」における長寿命化の実施方針をふまえ、機能を継続する施設に対して、建築後 20 年・60 年で大規模改造、40 年で長寿命化改修、80 年で改築する長寿命型の管理を行う場合の維持・更新コストを試算します。

表：公共施設の目標使用年数等

予防保全型管理	
大規模改造	20・60年
長寿命化改修	40年
改築 (目標使用年数)	80年

図：長寿命化型の維持管理のイメージ



表：長寿命化型の維持管理の名称と内容について

名称	内容	例（屋根・屋上）	総合管理計画名称
改築	構造上危険な状態にある建物や、教育を行うのに著しく不適当な建物で特別の事情があるものの改築	改築による新設	建替
長寿命化改修	建物の耐久性を高めるとともに、現代の社会的要請に応じた施設への改修	全面的な防水層のやり替え（断熱工法）	改修
大規模改造	経年により、通常発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧措置等	広範囲の防水層のやり替え	修繕
部位修繕	現状で支障が生じている部位（C または D 評価）に対する措置	限定した劣化範囲や漏水箇所の防水層のやり替え	—

表：校舎の改修内容と整備割合

部位	現状	長寿命化改修		大規模改造	
	仕様	内容	割合	内容	割合
屋根・屋上	シート防水	下地撤去のうえ、 シート防水（断熱仕様）	100	シート防水 （かぶせ工法）	100
外壁	モルタル＋ 吹付けタイル	クラック補修のうえ、 外壁再塗装（複層塗材）	100	外壁再塗装 （トップコートのみ）	100
躯体	コンクリート	躯体保護対策	100	現状のまま	0
外部建具 ガラス	アルミサッシ シングルガラス	サッシ交換 （カバー工法、複層ガラス）	100	現状のまま	0
外部金物	アルミ製手摺 スチール製設備架台	手摺の撤去・更新 設備架台の再塗装	100	劣化部補修 再塗装	100
内装 （天井）	化粧石膏ボード	撤去・更新	100	劣化部補修	50
内装 （壁）	石膏ボード＋クロス モルタル＋塗装	撤去・更新 （外壁面は内断熱）	100	劣化部補修 再塗装	50
内装 （床）	フローリングブロック ビニル床シート	床補修（フローリング） 撤去・更新（ビニル床材）	100	床補修（フローリング） 部分補修（ビニル床材）	50
内部建具	木製建具 軽量鋼製建具	撤去・更新	100	劣化部補修 再塗装・部材交換	50
ユニット	造作家具 可動間仕切り	撤去・更新	100	劣化部補修 再塗装・部材交換	50
電気設備	－	撤去・更新 （省エネ機器採用）	100	劣化部補修 部材交換	25
給排水設備	－	撤去・更新 （省エネ機器採用）	100	劣化部補修 部材交換	25
空調設備	－	撤去・更新 （省エネ機器採用）	100	劣化部補修 部材交換	25

## 第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

### 1. 改修等の整備水準

学校施設に対する整備水準は、年々高まってきており、本市においても耐震補強、空調設備の設置、防災機能の強化等を図ってきたところです。

今後は、構造体の長寿命化や内装仕上げ材等の改修、設備更新や必要な防災機能の付加など、建物の安全性を確保するとともに、機能性や快適性など学校生活の場として必要な環境の確保・維持や社会ニーズに応じた機能付加を図っていきます。また、環境や省エネルギー化についてもニーズや費用等を勘案しながら、安全性と機能性の確保と併せて効率的に進めていきます。

<b>【外部仕上げ】</b>		<b>【内部仕上げ】</b>	
屋根：塗膜防水（断熱工法） 外壁：防水型複層塗材 窓：サッシ交換（複層ガラス）、遮熱フィルム貼り		壁・天井・床：木質化 建具・家具：引戸・黒板・ロッカー等更新 トイレ：洋式化・乾式化	
<b>【省エネルギー化】</b>	<b>【バリアフリー化】</b>	<b>【防災・防犯】</b>	
照明：LED化 トイレ：節水型便器 空調：ヒートポンプ式	段差：スロープ・手すり トイレ：ユニバーサルトイレ 機械：エレベーター	建築：非構造部材の耐震化 防犯対策：防犯カメラ	
<b>【教育環境の向上】</b>		<b>【小中一貫化への対応】</b>	
電気：高速・大容量の無線LAN設備 備品：電子黒板・モニター・プロジェクター		間取り：交流スペースの設置 共用設備の導入	

## 2. 維持管理の項目・手法等

学校施設の維持管理を効率的・効果的に実施するため、点検・評価の項目を整理します。点検・評価に際しては、『文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」平成29年3月』、『掛川市公共施設簡易点検マニュアル 令和2年7月』などを用いて定期的に点検を実施します。

図：劣化状況評価基準

評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

評価	基準
良好 A	概ね良好
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
劣化 D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

経過年数による評価  
【内部仕上げ、電気設備、  
機械設備】

評価	基準
良好 A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
劣化 D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

図：劣化状況調査票

通し番号	xxxx-x-x-x				
学校名	A学校	学校番号	1301	調査日	平成28年9月20日
建物名	校舎	棟番号	1	建築年度	昭和44年度(1969年度)
構造種別	鉄筋コンクリート造	延床面積	2,562 m <sup>2</sup>	階数	地上 3 階 地下 0 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)		特記事項	評価
		年度	工事内容	箇所数			
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水 <input type="checkbox"/> アスファルト露出防水 <input checked="" type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水 <input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板) <input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類) <input type="checkbox"/> その他の屋根 ( )	H7	防水改修	<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある <input checked="" type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある <input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある <input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある <input checked="" type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある <input type="checkbox"/> 樋やルーフトンを目視点検できない <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある	2	EXP-J金物に脱落がある	C
		H3 H10	外壁改修 耐震補強	<input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある <input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある <input checked="" type="checkbox"/> 塗装の剥がれ <input checked="" type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている <input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある <input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐食 <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある	5 多数	北側の劣化	

部位	改修・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input checked="" type="checkbox"/> 老朽改修	H5	大規模改修	B
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策 <input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策 <input type="checkbox"/> その他、内部改修工事			
4 電気設備	<input checked="" type="checkbox"/> 分電盤改修	H22		A
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input checked="" type="checkbox"/> 昇降設備保守点検	H18	指摘無し	
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			C
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input checked="" type="checkbox"/> 消防設備の点検	H27	指摘への対応済み	
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

## 第6章 長寿命化の実施計画

### 1. 改修等の優先順位付け

改修等の優先順位付けとして、限りある予算の中で優先性を判断し、真に対策が必要な施設を抽出して事業を実施する必要があることから、劣化状況のみならず建物の重要性などに留意します。

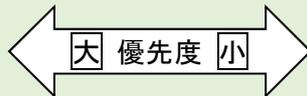
工事優先度は、各施設の部位ごとに劣化度、影響係数、重要度の3つの評価項目で点数を算出し、その合計から優先順位を決定することとします。

$$\text{棟の工事優先度} = \left[ \frac{\text{【劣化度】}}{100 \text{ 点満点}} \times \text{【影響係数】} \right] \times \left[ \frac{\text{【老朽化係数】}}{100 \text{ 点満点}} \right] + \text{【重要度】}$$

#### 【劣化度】

- ・現地確認等の結果にてA～Dの4段階評価を行う。

○直ちに改修が必要  
(D評価がある)

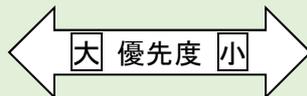


○問題なし  
(A評価のみ)

#### 【影響係数】

- ・劣化状況を放置した場合、損害が拡大し建築物への影響が大きいのか。

○現状放置による被害拡大や  
施設利用への影響が大きい



○被害拡大の恐れがなく  
施設利用に影響が小さい

#### 【重要度】

- ・長寿命化すべき施設か、防災上重要な施設であるか。

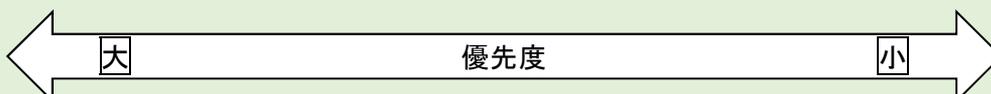
○重要な施設

- ・防災上の重要拠点

- ・指定避難所

○非重要施設

- ・倉庫、車庫等の無人施設



- ・長寿命化

- ・事後保全

- ・解体

## 2. 工事優先度の算出方法

### (1) 劣化度の算出

公共施設の劣化状況を把握するために、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（H29.12）文部科学省」に基づき建築物の劣化状況を調査します。

調査の結果、「屋根、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備」の5部位について以下の4段階評価を行います。なお、評価については、適宜見直しを行っていきます。

表：評価基準

部材	評価	評価基準
屋根・屋上	A	汚れている程度、改修後10年以内。
	B	部分的にひび割れ、変質、排水不良等がある。
	C	広範囲にひび割れや変質、雑草等が見られ、最上階天井に漏水跡がある。
	D	広範囲に損壊、破断、剥がれ、幅広のひび割れ、排水不良があり、最上階天井に漏水跡がある。
外壁	A	汚れている程度、改修から10年以内。
	B	部分的にひび割れや変質、欠損等がある。
	C	広範囲にひび割れや変質、鏽、浮きなどがあり、小規模な漏水跡がある。
	D	広範囲に剥落、亀裂、損壊、幅広なひび割れがあり、内部床に水たまり、漏水跡が複数箇所ある。
内部仕上げ	A	改修から20年未満
	B	改修から20年～40年
	C	改修から40年以上
	D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合
電気設備	A	改修から20年未満
	B	改修から20年～40年
	C	改修から40年以上
	D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合
機械設備	A	改修から20年未満
	B	改修から20年～40年
	C	改修から40年以上
	D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

上記の4段階評価について、劣化度として評価ごとに点数を配分します。以下の点数は、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（H29.12）文部科学省」を参考に設定していますが、ここでは、点数が高いほど状態が悪く、優先度が高いものとしています。

表：部位の劣化度の点数

評価	劣化度 点数	参考※ (健全度)
A	10	(100)
B	40	(75)
C	75	(40)
D	100	(10)

※「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」における点数配分を示します。

## (2) 劣化状況の評価結果

表：小学校の劣化状況（1/2）

  : 築50年以上   
   : 築30年以上 （基準：2020年）
 A : 概ね良好   
 C : 広範囲に劣化  
B : 部分的に劣化   
D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報												構造躯体の健全性				劣化状況評価							
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/㎡)						
1	1191	日坂小学校	普通教室棟	1	小学校	校舎	RC	3	1,633	1978	S53	42	旧	済	済			B	C	A	C	C	65
2	1191	日坂小学校	屋内運動場	4	小学校	体育館	S	1	692	1981	S56	39	新	-	-			A	A	B	B	B	84
3	1192	東山口小学校	普通教室棟	1	小学校	校舎	RC	3	2,914	1981	S56	39	新	-	-			A	A	B	B	B	84
4	1192	東山口小学校	屋内運動場	5	小学校	体育館	S	1	699	1982	S57	38	新	-	-			A	A	B	B	B	84
5	1193	西山口小学校	普通教室棟 管理教室棟	3-1.3-2.3-3.3-4.4-1.4-2	小学校	校舎	RC	3	2,197	1965	S40	55	旧	済	済			B	C	C	C	C	43
6	1193	西山口小学校	普通教室棟	8-1.8-2	小学校	校舎	RC	3	1,022	1975	S50	45	旧	済	済			B	B	B	C	C	66
7	1193	西山口小学校	屋内運動場	10	小学校	体育館	S	1	949	1981	S56	39	新	-	-			A	A	B	B	B	84
8	1193	西山口小学校	給食棟	14-1.14-2	小学校	校舎	S	1	251	1981	S56	39	新	-	-			B	B	B	B	B	75
9	1194	上内田小学校	普通教室棟	2	小学校	校舎	RC	3	1,611	1976	S51	44	旧	済	済	H23	20.2	B	B	B	C	C	66
10	1194	上内田小学校	屋内運動場	6	小学校	体育館	S	1	698	1982	S57	38	新	-	-			A	A	B	B	B	84
11	1194	上内田小学校	特別教室棟	8	小学校	校舎	RC	2	900	1990	H2	30	新	-	-			B	B	B	B	B	75
12	1196	第一小学校	管理教室棟 普通教室棟	6-1.6-2	小学校	校舎	RC	3	2,866	1982	S37	58	旧	済	済			C	C	C	C	C	40
13	1196	第一小学校	普通教室棟	11.12	小学校	校舎	RC	3	1,585	1986	S61	34	新	-	-			B	B	B	B	B	75
14	1196	第一小学校	屋内運動場	14-1	小学校	体育館	S	1	924	1987	S62	33	新	-	-			B	B	B	B	B	75
15	1197	第二小学校	普通教室棟	1-1.1-2.8.13	小学校	校舎	RC	3	2,779	1977	S52	43	旧	済	済			A	A	A	C	C	85
16	1197	第二小学校	屋内運動場	6-1	小学校	体育館	S	1	706	1984	S59	36	新	-	-			B	B	B	B	B	75
17	1197	第二小学校	普通教室棟	10	小学校	校舎	S	1	205	2005	H17	15	新	-	-			A	A	A	A	A	100
18	1197	第二小学校	普通教室棟	11	小学校	校舎	RC	3	1,044	2010	H22	10	新	-	-			A	A	A	A	A	100
19	1198	中央小学校	屋内運動場	11-1	小学校	体育館	S	1	950	1982	S57	38	新	-	-			A	B	B	B	B	77
20	1198	中央小学校	普通教室棟	12	小学校	校舎	RC	3	1,365	1986	S61	34	新	-	-			B	B	B	B	B	75
21	1198	中央小学校	普通教室棟	15	小学校	校舎	RC	3	2,733	2017	H29	3	新	-	-			A	A	A	A	A	100
22	1198	中央小学校	管理教室棟	16	小学校	校舎	RC	3	1,947	2017	H29	3	新	-	-			A	A	A	A	A	100
23	1198	曾我小学校	普通教室棟	4	小学校	校舎	RC	3	2,205	1970	S45	50	旧	済	済	H23	19.2	B	A	A	C	C	83
24	1199	曾我小学校	屋内運動場	8	小学校	体育館	S	1	700	1983	S58	37	新	-	-			B	D	C	B	B	43
25	1200	桜木小学校	管理教室棟	3.3-2	小学校	校舎	RC	4	4,339	1980	S55	40	旧	済	済	H15	28	B	B	B	B	B	75
26	1200	桜木小学校	屋内運動場	4	小学校	体育館	S	1	950	1983	S58	37	新	-	-			B	B	B	B	B	75
27	1200	桜木小学校	教室棟	9.9-2	小学校	校舎	RC	4	1,154	1992	H4	28	新	-	-			B	B	B	B	B	75
28	1201	和田岡小学校	普通教室棟	1.7-1	小学校	校舎	RC	3	1,915	1979	S54	41	旧	済	済	H23	25.6	A	A	B	C	C	75
29	1201	和田岡小学校	屋内運動場	3	小学校	体育館	S	1	700	1984	S59	36	新	-	-			C	B	B	B	B	72
30	1201	和田岡小学校	普通教室棟	6	小学校	校舎	RC	3	1,120	1989	H元	31	新	-	-			B	B	B	B	B	75
31	1202	原谷小学校	普通教室棟	1.2	小学校	校舎	RC	3	2,154	1971	S46	49	旧	済	済			C	C	C	C	C	40
32	1202	原谷小学校	屋内運動場	7	小学校	体育館	S	1	698	1981	S56	39	新	-	-			A	B	B	B	B	77
33	1202	原谷小学校	特別教室棟	10-1.10-2	小学校	校舎	RC	2	802	1992	H4	28	新	-	-			B	B	B	B	B	75
34	1202	原谷小学校	給食棟	12	小学校	校舎	S	1	218	1980	S55	40	旧	-	-			B	B	B	B	B	75
35	1203	原田小学校	管理教室棟	1	小学校	校舎	RC	3	1,681	1980	S55	40	旧	済	済	H15	37	A	A	A	B	B	94
36	1203	原田小学校	屋内運動場	5	小学校	体育館	S	1	699	1981	S56	39	新	-	-			B	B	B	B	B	75
37	1206	西郷小学校	普通教室棟	11-1.11-2	小学校	校舎	RC	3	3,097	1979	S54	41	旧	済	済	H23	18.8	A	B	C	C	C	55
38	1206	西郷小学校	屋内運動場	17.18.21	小学校	体育館	S	1	1,047	1987	S62	33	新	-	-			C	B	B	B	B	72
39	1207	倉真小学校	普通教室棟	1	小学校	校舎	RC	3	1,686	1981	S56	39	旧	済	済	H23	49.2	B	A	B	B	B	82
40	1207	倉真小学校	屋内運動場	4	小学校	体育館	S	1	701	1986	S61	34	新	-	-			B	B	B	B	B	75
41	1208	城北小学校	普通教室棟	1-1.1-2	小学校	校舎	RC	3	3,118	1973	S48	47	旧	済	済	H23	32.8	A	B	B	C	C	68
42	1208	城北小学校	普通教室棟	6	小学校	校舎	RC	3	1,942	1981	S56	39	新	-	-			B	B	B	B	B	75
43	1208	城北小学校	屋内運動場	8-1.7	小学校	体育館	S	1	1,181	1988	S63	32	新	-	-			B	B	B	B	B	75
44	1700	土方小学校	普通教室棟	3-1.3-2	小学校	校舎	RC	3	1,821	1963	S38	57	旧	済	済			C	C	C	B	B	49
45	1700	土方小学校	屋内運動場	7	小学校	体育館	S	2	805	1976	S51	44	旧	済	済			C	C	C	B	B	49
46	1700	土方小学校	管理教室棟	8	小学校	校舎	S	3	1,219	1982	S57	38	新	-	-			C	C	C	B	B	49

表：小学校の劣化状況（2/2）

  : 築50年以上   
   : 築30年以上   
 (基準:2020年)

A : 概ね良好   
 C : 広範囲に劣化  
B : 部分的に劣化   
 D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報													構造躯体の健全性				劣化状況評価						
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟 番号	用途 区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)
					学校 種別	建物 用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強 度(N/㎡)						
47	1701	佐東小学校	管理教室棟	1	小学校	校舎	S	3	2,113	1981	S56	39	新	-	-			C	C	C	B	B	49
48	1701	佐東小学校	屋内運動場,WC	5,6	小学校	体育館	S	2	830	1977	S52	43	旧	済	済			C	C	C	B	B	49
49	1701	佐東小学校	普通教室棟	9	小学校	校舎	RC	2	1,022	1988	S63	32	新	-	-			C	B	B	B	B	72
50	1702	中小学校	普通教室棟	1-1,1-2,2	小学校	校舎	RC	3	1,512	1979	S54	41	旧	済	-			C	C	C	B	B	49
51	1702	中小学校	屋内運動場	5	小学校	体育館	S	2	805	1979	S54	41	旧	済	済			C	C	C	B	B	49
52	1702	中小学校	特別教室棟	9	小学校	校舎	RC	3	616	1999	H11	21	新	-	-			B	B	B	B	B	75
53	1720	大坂小学校	特別教室棟,教室棟	1-1,1-2,1-3	小学校	校舎	RC	3	3,552	1972	S47	48	旧	済	済			B	B	B	B	B	75
54	1720	大坂小学校	管理教室棟	6	小学校	校舎	RC	3	1,108	1978	S53	42	旧	済	済			B	B	B	B	B	75
55	1720	大坂小学校	渡廊下	8	小学校	校舎	S	3	206	2006	H18	14	新	-	-			A	A	B	-	-	87
56	1720	大坂小学校	屋内運動場	9	小学校	体育館	S	1	949	2016	H28	4	新	-	-			A	A	A	A	A	100
57	1721	千浜小学校	教室棟	1-1,1-2,15	小学校	校舎	RC	3	2,160	1964	S39	56	旧	済	済			B	C	C	B	B	52
58	1721	千浜小学校	管理教室棟	12	小学校	校舎	RC	3	1,257	1979	S54	41	旧	済	-			B	B	B	B	B	75
59	1721	千浜小学校	渡り廊下	16	小学校	校舎	S	2	219	2005	H17	15	新	-	-			A	A	A	-	-	100
60	1721	千浜小学校	屋内運動場	17	小学校	体育館	S	1	911	2017	H29	3	新	-	-			A	A	A	A	A	100
61	1710	横須賀小学校	教室棟	9,10	小学校	校舎	RC	3	2,331	1974	S49	46	旧	済	済			C	C	C	B	B	49
62	1710	横須賀小学校	管理教室棟	13	小学校	校舎	RC	3	2,285	1984	S59	36	新	-	-			B	C	C	B	B	52
63	1710	横須賀小学校	屋内運動場	16	小学校	体育館	S	1	975	2005	H17	15	新	-	-			B	B	B	B	B	75
64	1711	大淵小学校	管理教室棟,教室棟	1,2,11	小学校	校舎	RC	3	2,577	1973	S48	47	旧	済	済			C	C	B	B	B	62
65	1711	大淵小学校	屋内運動場	7	小学校	体育館	S	1	716	1976	S51	44	旧	済	済			B	B	B	B	B	75

表：中学校の劣化状況

  : 築50年以上   
   : 築30年以上 (基準:2020年)

A : 概ね良好    C : 広範囲に劣化  
B : 部分的に劣化    D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報												構造躯体の健全性				劣化状況評価							
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )						
66	4120	栄川中学校	教室棟	1-1.1-2	中学校	校舎	RC	3	2,314	1978	S53	42	旧	済	済	H23	29.6	B	B	B	B	B	75
67	4120	栄川中学校	屋内運動場	5-1.5-3	中学校	体育館	S	1	1,148	1978	S53	42	旧	済	済			B	B	B	B	B	75
68	4120	栄川中学校	教室棟	7	中学校	校舎	RC	3	941	1990	H2	30	新	-	-			B	B	B	B	B	75
69	4121	東中学校	管理教室棟	5-1.5-2.5-3	中学校	校舎	RC	3	3,921	1968	S43	52	旧	済	済			B	A	B	B	B	82
70	4121	東中学校	普通教室棟	12-1.12-2	中学校	校舎	RC	3	1,481	1986	S61	34	新	-	-			B	B	B	B	B	75
71	4121	東中学校	屋内運動場	17	中学校	体育館	S	2	1,400	2004	H16	16	新	-	-			B	B	B	B	B	75
72	4122	西中学校	普通教室棟	6-1.6-2.25	中学校	校舎	RC	3	2,356	1967	S42	53	旧	済	済			B	B	B	B	B	75
73	4122	西中学校	普通教室棟	7.8-1.8-2.26	中学校	校舎	RC	3	1,960	1968	S43	52	旧	済	済			B	B	B	B	B	75
74	4122	西中学校	特別教室棟	18	中学校	校舎	RC	3	1,135	1987	S62	33	新	-	-			B	B	B	B	B	75
75	4122	西中学校	屋内運動場	27	中学校	体育館	S	2	1,401	2005	H17	15	新	-	-			B	B	B	B	B	75
76	4122	西中学校	特別教室棟	29	中学校	校舎	S	2	833	2014	H26	6	新	-	-			B	B	B	B	B	75
77	4123	桜が丘中学校	教室棟 特別教室棟	2-1.2-2.2-3.8	中学校	校舎	RC	4	3,832	1980	S55	40	旧	済	済	H23	36.5	D	B	B	B	B	70
78	4123	桜が丘中学校	教室棟	7	中学校	校舎	RC	3	874	1989	H元	31	新	-	-			B	B	B	B	B	75
79	4123	桜が丘中学校	屋内運動場	14	中学校	体育館	S	2	1,406	2007	H19	13	新	-	-			B	B	B	B	B	75
80	4124	原野谷中学校	普通教室棟	1-1.1-2.13.20	中学校	校舎	RC	3	2,313	1960	S35	60	旧	済	済			C	B	B	B	B	72
81	4124	原野谷中学校	特別教室棟	14	中学校	校舎	RC	2	861	1987	S62	33	新	-	-			B	B	B	B	B	75
82	4124	原野谷中学校	屋内運動場	21	中学校	体育館	S	1	1,308	2010	H22	10	新	-	-			A	A	A	A	A	100
83	4126	北中学校	特別教室棟	12-1	中学校	校舎	RC	2	1,098	1988	S63	32	新	-	-			B	B	B	B	B	75
84	4126	北中学校	普通教室棟	13-1.13-2.13-3.16	中学校	校舎	RC	3	5,654	1998	H10	22	新	-	-			B	B	B	B	B	75
85	4126	北中学校	管理棟	14.15	中学校	校舎	S	1	564	1998	H10	22	新	-	-			B	B	B	B	B	75
86	4126	北中学校	屋内運動場	18	中学校	体育館	S	2	1,440	2009	H21	11	新	-	-			B	B	B	B	B	75
87	4400	城東中学校	管理教室棟	4.13	中学校	校舎	RC	4	3,196	1974	S49	46	旧	済	済			B	B	B	B	B	75
88	4400	城東中学校	屋内運動場	11	中学校	体育館	S	2	1,032	1976	S51	44	旧	済	済			B	B	B	B	B	75
89	4400	城東中学校	特別教室棟	14	中学校	校舎	RC	4	921	1989	H元	31	新	-	-			B	B	B	B	B	75
90	4420	大浜中学校	教室棟	3.13	中学校	校舎	RC	2	643	1962	S37	58	旧	済	済			B	B	B	B	B	75
91	4420	大浜中学校	技術棟	11	中学校	校舎	RC	1	282	1973	S48	47	旧	済	-			B	B	B	B	B	75
92	4420	大浜中学校	普通教室棟	14	中学校	校舎	S	4	4,508	1980	S55	40	旧	済	済			B	B	B	B	B	75
93	4420	大浜中学校	屋内運動場	18	中学校	体育館	S	2	1,494	1992	H4	28	新	-	-			B	B	B	B	B	75
94	4420	大浜中学校	屋内運動場	20	中学校	体育館	S	1	1,101	1977	S52	43	旧	済	済			B	B	B	B	B	75
95	4410	大須賀中学校	柔剣道場	14	中学校	体育館	S	1	557	1987	S62	33	新	-	-			B	B	B	B	B	75
96	4410	大須賀中学校	校舎	20	中学校	校舎	RC	4	5,824	2002	H14	18	新	-	-			B	B	B	B	B	75
97	4410	大須賀中学校	屋内運動場	22-1	中学校	体育館	RC	2	1,708	2003	H15	17	新	-	-			B	B	B	B	B	75

表：給食センターの劣化状況

  : 築50年以上   
   : 築30年以上 (基準:2020年)

A : 概ね良好    C : 広範囲に劣化  
B : 部分的に劣化    D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報												構造躯体の健全性				劣化状況評価							
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )						
98	K093	大東学校給食センター	調理棟	1	その他	給食センター	S	2	1,391	2000	H12	20	新	-	-			B	B	B	B	B	75
99	K101	給食文化苑 こうようの丘	共同調理場	1	その他	給食センター	S	2	1,558	2002	H14	18	新	-	-			B	B	B	B	B	75
100	K118	さかがわ学校給食センター	調理棟	1	その他	給食センター	S	2	2,571	2017	H29	3	新	-	-			A	A	A	A	A	100

### (3) 経過年数と劣化状況の関係

本計画の対象施設で行った劣化状況調査の結果を評価点（K）としてポイント化し、経過年数ごとの評価点（K）の平均値を算出することで、経過年数ごとの傾向を把握します。

表：評価点（K）の設定

劣化状況評価	評価点（K）	備考
A	K=4	 良い ↓ ↑ 悪い
B	$3 \leq K < 4$	
C	$2 \leq K < 3$	
D	$1 \leq K < 2$	

表：調査結果による経過年数ごとの評価点（K）の平均値

経過年数	棟数	屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
20年未満	19	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
20年以上 30年未満	7	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
30年以上 40年未満	35	3.1	3.0	2.9	3.0	3.0
40年以上 50年未満	29	2.9	2.8	2.9	2.7	2.7
50年以上	10	2.7	2.8	2.7	2.7	2.7

表：経過年数ごとの劣化状況の傾向

経過年数	屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
5年未満	A	A	A	A	A
5年以上 20年未満	B	B	B	B	B
20年以上 30年未満	B	B	B	B	B
30年以上 40年未満	B	B	C	B	B
40年以上 50年未満	C	C	C	C	C
50年以上	C	C	C	C	C

調査結果の傾向から平均値を評価に置き換えると、築40年以上の建物はC評価が多いことが分かり、計画的に対策を実施していく必要があります。

#### (4) 影響係数の設定

劣化状況における工事優先度については、部位の重み付けは一律ではなく、建物全体への影響度を考慮すべきであると考えます。ここでは、各部位の劣化度が躯体や建物全体へ与える影響を考慮し、重み付けを行うための影響係数を設定します。

表：部位の影響係数

部位	影響度合	影響係数
屋根	雨水が滞水し浸入しやすく、躯体全体に影響を与える	4.0
外壁	雨掛かりがあるが、屋根ほどではない（滞水しない）	3.0
内部仕上	美観上の問題はあるが、躯体の耐久性への影響は小さい	1.0
電気設備	機能停止の場合、施設全体への影響がある	2.0
機械設備	機能停止の場合、施設全体への影響がある	2.0
合 計		12.0

#### (5) 劣化度×影響係数の考え方

各部位の劣化度に影響係数を乗じ、合計することで、以下の例に示すように棟の劣化状況を100点満点とした場合の点数を算出します。

< 1棟当たりの劣化度×影響係数の算出方法 >

$$1 \text{ 棟当たりの劣化度} \times \text{影響係数} = (\text{部位の劣化度} \times \text{部位の影響係数}) \text{ の合計} \div 12.0$$

表：劣化度の算出例

部位	評価	点数	×	影響係数	=	
屋根	A	10	×	4.0	=	40.0
外壁	B	40	×	3.0	=	120.0
内装	C	75	×	1.0	=	75.0
機械設備	D	100	×	2.0	=	200.0
電気設備	B	40	×	2.0	=	80.0
合計						515.0
						÷12
劣化度×影響係数 / 12						42.9

## (6) 老朽化係数

劣化度は、建築物において目視で確認できる劣化状況を評価しています。しかし、建築年度が古い建築物ほど内在的な劣化（コンクリート内部の劣化、鋼材の疲労、繰り返し使用による劣化や摩耗等）が潜んでいる可能性があると考えられます。

ここでは、前述で算出した劣化度×影響係数について、後述の重要度とのバランスを考慮し、建築年度を加味して、下表の老朽化係数を乗じて補正します。

表：老朽化係数

項 目	年度	老朽化係数
最も古い公共施設（計画対象）	1960	2.48※（最大値）
最も新しい公共施設（計画対象）	2017	1.0（最小値）
上記以外の公共施設	1961～ 2016	上記の比例配分

例) 建築年度が 1990 年の場合の老朽化係数

$$= 1 + \{(2017 - 1990) \times (2.48 - 1.0) / (2017 - 1960)\}$$
$$\doteq 1.70$$

※老朽化係数の最大値「2.48」

「各棟の劣化度×影響係数の平均値」 $\doteq$  40.01

「各棟の重要度の平均値」 $\doteq$  99.40

ここで、【老朽化係数の最大値】 $= 99.40 / 40.01 \doteq 2.48$

## (7) 重要度

重要度については、各棟の用途が学校施設として重要であるかについて評価を行います。

各棟の用途を「校舎」、「体育館」、「給食センター」に分類し、以下に示すように点数を配分します。ここでは、点数が高いほど学校施設として重要であり、優先度が高いものとしています。

表：重要度評価の点数

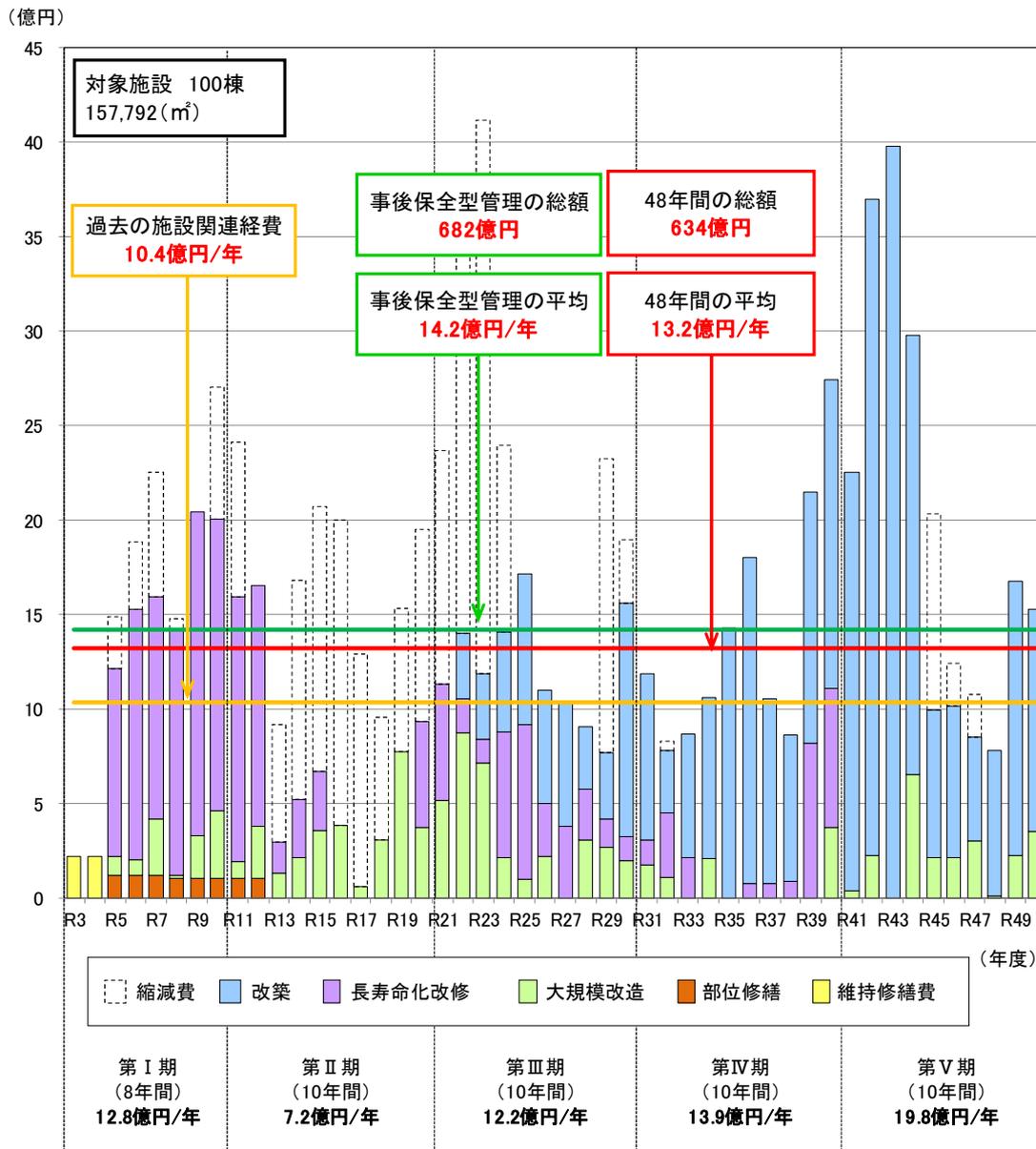
各棟の用途	用途別評価点
校舎	100
体育館	100
給食センター	80

### 3. 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

建替単価を 300,000 円/m<sup>2</sup>、改修の単価を 180,000 円/m<sup>2</sup>、修繕の単価を 60,000 円/m<sup>2</sup>とした場合※、従来型から長寿命化型にシフトすることで、今後 48 年間の維持・更新コストは総額 634 億円、年平均で約 13.2 億円となり、事後保全型と比較して総額 48 億円、年平均で約 1.0 億円の縮減効果が得られる結果となりました。

※「掛川市公共施設等総合管理計画（平成 28 年 3 月）」による。

図：今後の維持・更新コスト(長寿命化型)の試算結果



表：長寿命化の効果

従来型	長寿命化型	効果額
682 億円	634 億円	48 億円
14.2 億円/年	13.2 億円/年	1.0 億円/年

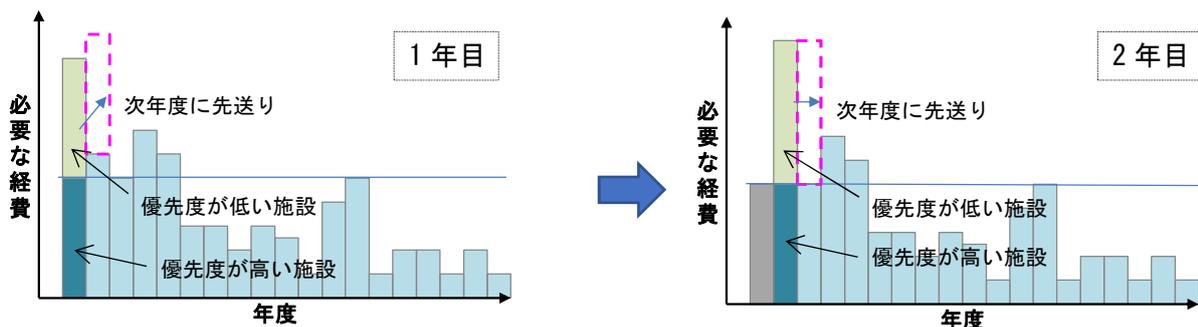
#### 4. 工事優先度による平準化の方法

長寿命化型の管理を実施した場合の維持・更新コストについて、安定的に維持・更新を行うには、コストの平準化が必要です。平準化は以下のように行います。

##### 【平準化の条件】

- 現状で支障が生じている部位（劣化状況評価のCまたはD）については、D評価の部位は今後5年以内に修繕を、C評価の部位は今後10年以内に修繕を実施すると設定します。ただし、長寿命化改修または改築を今後10年以内に実施する場合を除きます。
- 既に長寿命化改修または改築の実施時期を過ぎている場合については、未実施の積み残し工事を今後10年以内に実施すると設定します。ただし、大規模改造（老朽）事業を行っている場合は、積み残し工事は実施済みとします。
- 設定した予算上限額から工事費が上回る年度は、「工事優先度の高い順」に計上し、予算上限額に達したら、計上されなかった工事は翌年度に先送りします。  
(工事優先度が同点の場合、建築年度が古い順、延床面積が大きい順とします。)
- 前倒し期間の制限は10年とします。
- 先送り期間の制限は10年とします。

図：平準化のイメージ



## 5. 長寿命化のコストの見通し

### (1) 平準化の予算設定及び効果の算定

平準化に際しては、長寿命化型の維持・更新コスト試算の結果から予算設定を、長寿命化改修の積み残しが集中する第Ⅰ期（令和 5 年度から令和 10 年度）は 15.0 億円/年、工事が集中しない第Ⅱ期から第Ⅲ期は 10.0 億円/年、改築が集中する第Ⅳ期から第Ⅴ期は 18.0 億円/年とします。

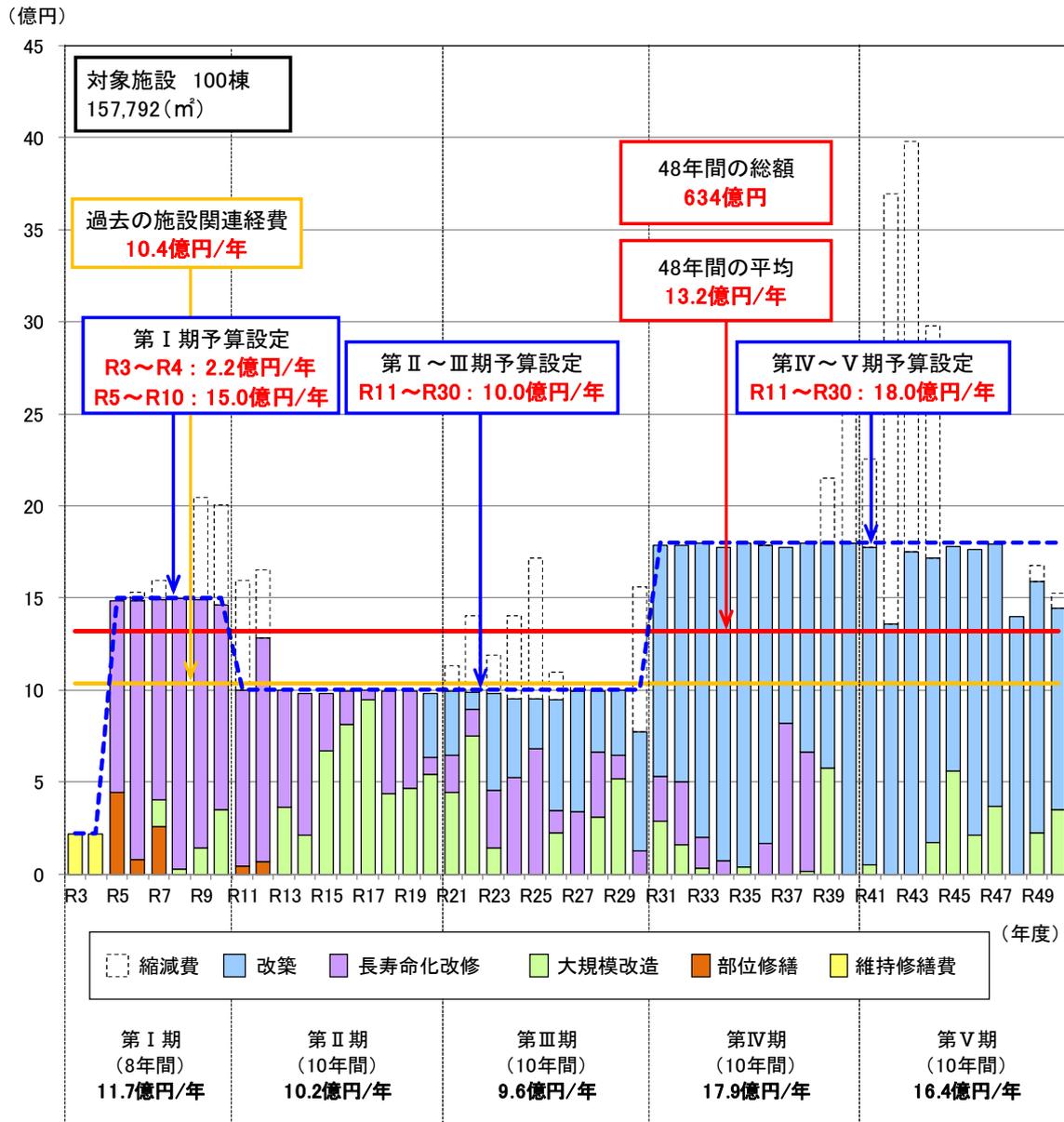
表：平準化結果のまとめ

	年 度	予算設定	平均費用
第Ⅰ期	R3~R4	2.2 億円/年	11.7 億円/年
	R5~R10	15.0 億円/年	
第Ⅱ期	R11~R20	10.0 億円/年	10.2 億円/年
第Ⅲ期	R21~R30	10.0 億円/年	9.6 億円/年
第Ⅳ期	R31~R40	18.0 億円/年	17.9 億円/年
第Ⅴ期	R41~R50	18.0 億円/年	16.4 億円/年

## (2) 今後の維持・更新コスト（平準化型）

平準化を考慮して試算した結果、第Ⅳ期、第Ⅴ期に改築が集中しており、それぞれ 17.9 億円/年、16.4 億円/年が必要となる見込みです。

図：平準化を考慮した試算結果



平準化の検討結果からも分かるように、大半の施設を長寿命化することで更新時期が後半に集中することは、将来世代に大きな負担を残すことになるため、小規模校の統廃合や適正規模化、余剰分の規模縮小による更新など戦略的に更新時期を分散化する検討も必要となってきます。

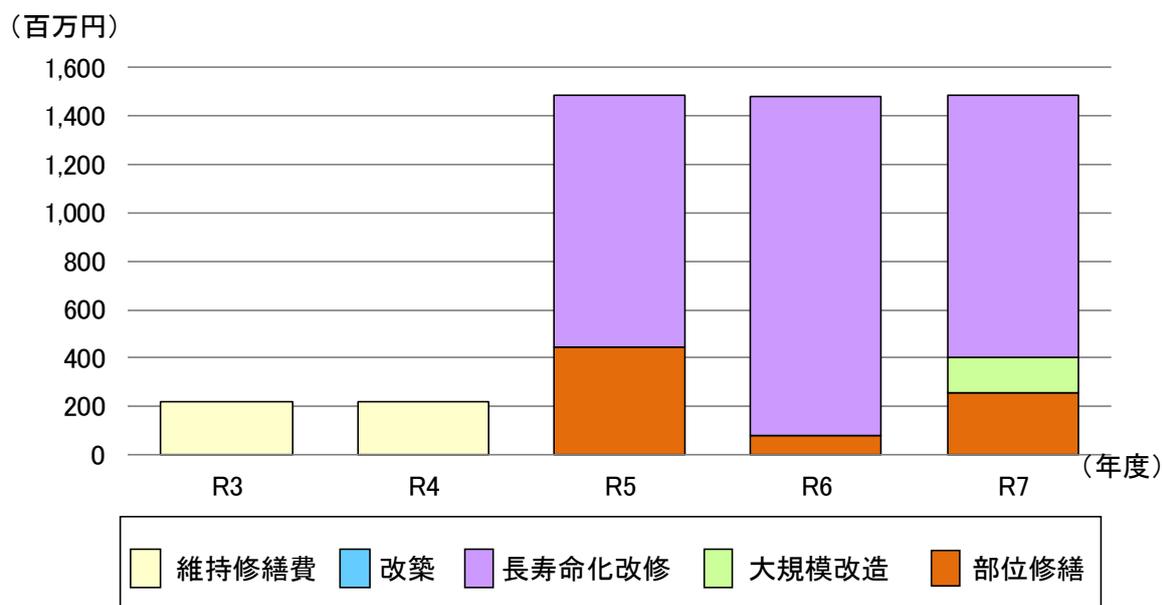
## 6. 改修等の実施計画（直近5年間の予算配分）

令和3年度から令和7年度までの直近5年間においては、劣化状況調査の結果からC評価、D評価となった部位の修繕や築40年以上を経過した建物の長寿命化改修などの工事を行う必要があります。

以下に、直近5年間の整備費用の見込みを示します。

令和3、4年度は、再編計画の策定期間とし、例年並の維持修繕費のみを見込んでいます。

図：直近5年間の整備費用の見込み



次頁に、直近5年間の施設ごとの実施計画を示します。

表：施設ごとの実施計画（1/2）

単位：百万円

年度 事業名称	R3				R4				R5				
	学校名	棟名	棟番号	事業費	学校名	棟名	棟番号	事業費	学校名	棟名	棟番号	事業費	
施設整備費	改築												
	小計			0				0				0	
	長寿命化 改修									土方小学校	普通教室棟	3-1.3-2	328
										土方小学校	屋内運動場	7	145
										佐東小学校	屋内運動場,WC	5.6	149
										横須賀小学校	教室棟	9.10	420
	小計			0				0				1,042	
	大規模 改造												
		小計			0				0				0
	部位 修繕									西山口小学校	普通教室棟	8-1.8-2	24
									部：電気 機械				
									第一小学校	管理教室棟,普通教室棟	6-1.6-2	188	
									部：屋根 外壁 内部 電気 機械				
									原谷小学校	普通教室棟	1.2	142	
									部：屋根 外壁 内部 電気 機械				
									大淵小学校	管理教室棟,教室棟	1.2.11	66	
									部：屋根 外壁				
									原野谷中学校	普通教室棟	1-1.1-2,1.3.20	24	
									部：屋根				
小計			0				0				444		
維持修繕費			220				220				0		
合計			220				220				1,486		

表：施設ごとの実施計画（2/2）

単位：百万円

事業名称	R6				R7				
	学校名	棟名	棟番号	事業費	学校名	棟名	棟番号	事業費	
施設整備費	改築								
	小計			0				0	
	長寿命化改修	土方小学校	管理教室棟	8	219	曾我小学校	屋内運動場	8	63
		佐東小学校	管理教室棟	1	380	和田岡小学校	屋内運動場	3	63
		中小学校	普通教室棟	1-1.1-2.2	272	大坂小学校	特別教室棟.教室棟	1-1.1-2.1-3	639
		中小学校	屋内運動場	5	145	横須賀小学校	管理教室棟	13	206
		千浜小学校	教室棟	1-1.1-2.15	389	大浜中学校	教室棟	3.13	116
		小計			1,406				1,087
	大規模改造					西山口小学校	普通教室棟.管理教室棟	3-1.3-2.3-3.3-4.4-1.4-2	132
						第二小学校	普通教室棟	10	12
		小計			0				144
	部位修繕	上内田小学校	普通教室棟	2	37	日坂小学校	普通教室棟	1	63
			部：電気 機械				部：外壁 電気 機械		
		桜が丘中学校	教室棟.特別教室棟	2-1.2-2.2-3.8	40	西郷小学校	普通教室棟	11-1.11-2	124
部：屋根				部：内部 電気 機械					
					城北小学校	普通教室棟	1-1.1-2	72	
					部：電気 機械				
小計				77				258	
維持修繕費				0				0	
合計			1,483				1,489		

## 第7章 長寿命化計画の継続的運用方針

### 1. 情報基盤の整備と活用

施設ごとの点検、診断等の実施結果を蓄積し、その実施状況等を把握できる仕組みづくりを検討します。上位計画である総合管理計画では、「固定資産台帳」をベースに全庁的な情報共有を図っていくこととしていますが、学校固有の情報も維持管理上、必要となってきます。

具体的には、学校施設の基本情報、固定資産情報、点検・診断結果、修繕履歴などを一元的にデータベース化し、施設管理担当の職員が閲覧・編集可能なデータとして、適切に情報を更新していくことで、学校施設長寿命化計画を継続的に運用していくことが可能な維持管理サイクルを確立します。

### 2. 推進体制等の整備

学校施設を総合的に管理していくため、推進体制の構築を進めます。庁内組織として、総合管理計画の進行管理等を行う「掛川市公共施設マネジメント庁内推進委員会」の下部組織として、関連する管財・企画・財政部門を含めた部会を設置することを検討します。

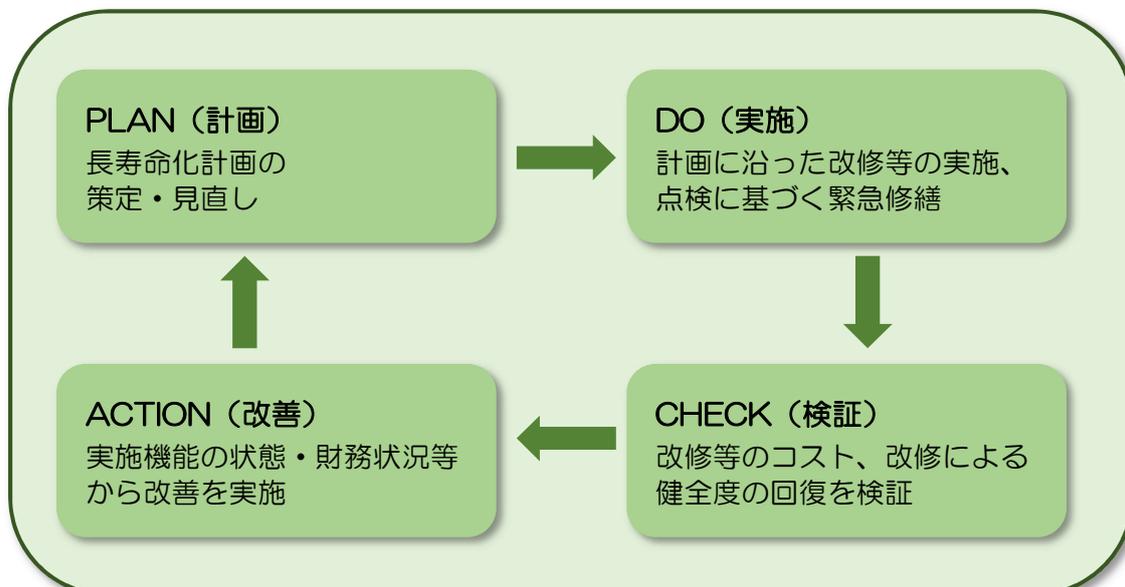
そこで、学校施設に関する情報を活用するなど、総合的な管理を実施していくために、管理する学校施設の情報を集約・共有できる体制や組織間の連携強化を図ります。

また、市全体の公共施設の適正な維持管理に向けて、公共施設再配置計画で取り上げられている余裕教室の児童クラブ等での活用について、継続・拡大に向けた他課との連携を図ります。

### 3. フォローアップ

本計画は、50年先までを見据えた長期にわたる学校施設の維持管理方針を示すものでありますが、現実的には、その時々的人口動向や社会情勢、財政状況を考慮し、適宜、見直しを加えながら進めていく必要があります。このため、本計画はPDCAサイクルを取り入れながら、3～5年ごとに短期計画の見直しを行いながら、予算要望や改修工事を実施していく方針とします。

『PDCAサイクル（plan-do-check-action）』とは、事業活動における生産管理や品質管理等の管理業務を円滑に進める手法の一つです。『Plan（計画）⇒Do（実行）⇒Check（評価）⇒Action（改善）』の4段階を繰り返すことによって、計画内容を継続的に改善します。



## 【資料編】

### 工事優先度の算出結果

工事優先度の算出結果を以下に示します。平準化を検討する際には、限られた予算の中で優先順位が高い施設から順に事業を実施していくこととします。

表 優先度の算出結果一覧表 (1/2)

通し 番号	学校 調査 番号	建物基本情報			工事優先度の算出					
		施設名	建物名	建物用途	1棟あたりの 劣化度 =(A)	各部位の 劣化度 ×影響係数 =(B)	老朽化係数	(B) ×老朽化係数 =(C)	重要度 =(D)	工事優先度 =(C)+(D)
1	1191	日坂小学校	普通教室棟	校舎	55	58	2.01	117	100	217
2	1191	日坂小学校	屋内運動場	体育館	28	23	1.93	44	100	144
3	1192	東山口小学校	普通教室棟	校舎	28	23	1.93	44	100	144
4	1192	東山口小学校	屋内運動場	体育館	28	23	1.91	44	100	144
5	1193	西山口小学校	普通教室棟,管理教室棟	校舎	68	63	2.35	148	100	248
6	1193	西山口小学校	普通教室棟	校舎	54	52	2.09	109	100	209
7	1193	西山口小学校	屋内運動場	体育館	28	23	1.93	44	100	144
8	1193	西山口小学校	給食棟	校舎	40	40	1.93	77	100	177
9	1194	上内田小学校	普通教室棟	校舎	54	52	2.06	107	100	207
10	1194	上内田小学校	屋内運動場	体育館	28	23	1.91	44	100	144
11	1194	上内田小学校	特別教室棟	校舎	40	40	1.70	68	100	168
12	1196	第一小学校	管理教室棟,普通教室棟	校舎	75	75	2.43	182	100	282
13	1196	第一小学校	普通教室棟	校舎	40	40	1.80	72	100	172
14	1196	第一小学校	屋内運動場	体育館	40	40	1.78	71	100	171
15	1197	第二小学校	普通教室棟	校舎	36	32	2.04	65	100	165
16	1197	第二小学校	屋内運動場	体育館	40	40	1.86	74	100	174
17	1197	第二小学校	普通教室棟	校舎	10	10	1.31	13	100	113
18	1197	第二小学校	普通教室棟	校舎	10	10	1.18	12	100	112
19	1198	中央小学校	屋内運動場	体育館	34	30	1.91	57	100	157
20	1198	中央小学校	普通教室棟	校舎	40	40	1.80	72	100	172
21	1198	中央小学校	普通教室棟	校舎	10	10	1.00	10	100	110
22	1198	中央小学校	管理教室棟	校舎	10	10	1.00	10	100	110
23	1198	曾我小学校	普通教室棟	校舎	42	42	2.22	93	100	193
24	1199	曾我小学校	屋内運動場	体育館	59	58	1.88	109	100	209
25	1200	桜木小学校	管理教室棟	校舎	40	40	1.96	78	100	178
26	1200	桜木小学校	屋内運動場	体育館	40	40	1.88	75	100	175
27	1200	桜木小学校	教室棟	校舎	40	40	1.65	66	100	166
28	1201	和田岡小学校	普通教室棟	校舎	42	34	1.99	68	100	168
29	1201	和田岡小学校	屋内運動場	体育館	47	52	1.86	97	100	197
30	1201	和田岡小学校	普通教室棟	校舎	40	40	1.73	69	100	169
31	1202	原谷小学校	普通教室棟	校舎	75	75	2.19	164	100	264
32	1202	原谷小学校	屋内運動場	体育館	34	30	1.93	58	100	158
33	1202	原谷小学校	特別教室棟	校舎	40	40	1.65	66	100	166
34	1202	原谷小学校	給食棟	校舎	40	40	1.96	78	100	178
35	1203	原田小学校	管理教室棟	校舎	22	20	1.96	39	100	139
36	1203	原田小学校	屋内運動場	体育館	40	40	1.93	77	100	177
37	1206	西郷小学校	普通教室棟	校舎	55	45	1.99	90	100	190
38	1206	西郷小学校	屋内運動場	体育館	47	52	1.78	93	100	193
39	1207	倉真小学校	普通教室棟	校舎	34	33	1.93	64	100	164
40	1207	倉真小学校	屋内運動場	体育館	40	40	1.80	72	100	172
41	1208	城北小学校	普通教室棟	校舎	48	42	2.14	90	100	190
42	1208	城北小学校	普通教室棟	校舎	40	40	1.93	77	100	177
43	1208	城北小学校	屋内運動場	体育館	40	40	1.75	70	100	170
44	1700	土方小学校	普通教室棟	校舎	61	63	2.40	151	100	251
45	1700	土方小学校	屋内運動場	体育館	61	63	2.06	130	100	230

表 優先度の算出結果一覧表 (2/2)

通し 番号	学校 調査 番号	建物基本情報			工事優先度の算出					
		施設名	建物名	建物用途	1棟あたりの 劣化度 = (A)	各部位の 劣化度 × 影響係数 = (B)	老朽化係数	(B) × 老朽化係数 = (C)	重要度 = (D)	工事優先度 = (C)+(D)
46	1700	土方小学校	管理教室棟	校舎	61	63	1.91	120	100	220
47	1701	佐東小学校	管理教室棟	校舎	61	63	1.93	122	100	222
48	1701	佐東小学校	屋内運動場,W/C	体育館	61	63	2.04	129	100	229
49	1701	佐東小学校	普通教室棟	校舎	47	52	1.75	91	100	191
50	1702	中小学校	普通教室棟	校舎	61	63	1.99	125	100	225
51	1702	中小学校	屋内運動場	体育館	61	63	1.99	125	100	225
52	1702	中小学校	特別教室棟	校舎	40	40	1.47	59	100	159
53	1720	大坂小学校	特別教室棟,教室棟	校舎	40	40	2.17	87	100	187
54	1720	大坂小学校	管理教室棟	校舎	40	40	2.01	80	100	180
55	1720	大坂小学校	渡廊下	校舎	12	9	1.29	12	100	112
56	1720	大坂小学校	屋内運動場	体育館	10	10	1.03	10	100	110
57	1721	千浜小学校	教室棟	校舎	54	52	2.38	124	100	224
58	1721	千浜小学校	管理教室棟	校舎	40	40	1.99	80	100	180
59	1721	千浜小学校	渡り廊下	校舎	6	7	1.31	9	100	109
60	1721	千浜小学校	屋内運動場	体育館	10	10	1.00	10	100	110
61	1710	横須賀小学校	教室棟	校舎	61	63	2.12	134	100	234
62	1710	横須賀小学校	管理教室棟	校舎	54	52	1.86	97	100	197
63	1710	横須賀小学校	屋内運動場	体育館	40	40	1.31	52	100	152
64	1711	大淵小学校	管理教室棟,教室棟	校舎	54	60	2.14	128	100	228
65	1711	大淵小学校	屋内運動場	体育館	40	40	2.06	82	100	182
66	4120	栄川中学校	教室棟	校舎	40	40	2.01	80	100	180
67	4120	栄川中学校	屋内運動場	体育館	40	40	2.01	80	100	180
68	4120	栄川中学校	教室棟	校舎	40	40	1.70	68	100	168
69	4121	東中学校	管理教室棟	校舎	34	33	2.27	75	100	175
70	4121	東中学校	普通教室棟	校舎	40	40	1.80	72	100	172
71	4121	東中学校	屋内運動場	体育館	40	40	1.34	54	100	154
72	4122	西中学校	普通教室棟	校舎	40	40	2.30	92	100	192
73	4122	西中学校	普通教室棟	校舎	40	40	2.27	91	100	191
74	4122	西中学校	特別教室棟	校舎	40	40	1.78	71	100	171
75	4122	西中学校	屋内運動場	体育館	40	40	1.31	52	100	152
76	4122	西中学校	特別教室棟	校舎	40	40	1.08	43	100	143
77	4123	桜が丘中学校	教室棟,特別教室棟	校舎	52	60	1.96	118	100	218
78	4123	桜が丘中学校	教室棟	校舎	40	40	1.73	69	100	169
79	4123	桜が丘中学校	屋内運動場	体育館	40	40	1.26	50	100	150
80	4124	原野谷中学校	普通教室棟	校舎	47	52	2.48	129	100	229
81	4124	原野谷中学校	特別教室棟	校舎	40	40	1.78	71	100	171
82	4124	原野谷中学校	屋内運動場	体育館	10	10	1.18	12	100	112
83	4126	北中学校	特別教室棟	校舎	40	40	1.75	70	100	170
84	4126	北中学校	普通教室棟	校舎	40	40	1.49	60	100	160
85	4126	北中学校	管理棟	校舎	40	40	1.49	60	100	160
86	4126	北中学校	屋内運動場	体育館	40	40	1.21	48	100	148
87	4400	城東中学校	管理教室棟	校舎	40	40	2.12	85	100	185
88	4400	城東中学校	屋内運動場	体育館	40	40	2.06	82	100	182
89	4400	城東中学校	特別教室棟	校舎	40	40	1.73	69	100	169
90	4420	大浜中学校	教室棟	校舎	40	40	2.43	97	100	197
91	4420	大浜中学校	技術棟	校舎	40	40	2.14	86	100	186
92	4420	大浜中学校	普通教室棟	校舎	40	40	1.96	78	100	178
93	4420	大浜中学校	屋内運動場	体育館	40	40	1.65	66	100	166
94	4420	大浜中学校	屋内運動場	体育館	40	40	2.04	82	100	182
95	4410	大須賀中学校	柔剣道場	体育館	40	40	1.78	71	100	171
96	4410	大須賀中学校	校舎	校舎	40	40	1.39	56	100	156
97	4410	大須賀中学校	屋内運動場	体育館	40	40	1.36	54	100	154
98	K093	大東学校給食センター	調理棟	給食センター	40	40	1.44	58	80	138
99	K101	給食文化苑 こうようの丘	共同調理場	給食センター	40	40	1.39	56	80	136
100	K118	さかかわ学校給食センター	調理棟	給食センター	10	10	1.00	10	80	90

## 掛川市学校施設長寿命化計画

---

発行 2021年（令和3年）3月

掛川市教育委員会

〒436-8650 静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1

TEL (0537) 21-1127